

第五十六回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(記)第十七回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)
鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月八日(金曜日)午前十一時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事 熊谷 巖君

理事 田中千代松君

佐竹直太郎君

上條 信君

山下 谷次君

木村三四郎君

工藤 鐵男君

清水徳太郎君

同日委員岡田忠彦君、有馬秀雄君及岡

本實太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ豊

田收君、山下谷次君及井上剛一君ヲ議

長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 上埜安太郎君

鐵道參與官 志賀和多利君

鐵道省監督局長 福富 正男君

鐵道省運輸局長 寛 正太郎君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

鐵道省工務局長 加賀山 學君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ
如シ

鐵道書記官 細野 躋君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

提出)

○若宮委員長 開會致シマス、ソレデ

ハ木檜君御質疑ガアリマスカ

○木檜委員 此地方鐵道法中改正法律

案デアリマスガ、今度今迄買收鐵道ニ

對シテハ、交付公債ヲ額面デ渡シタモ

ノヲ、建設費以下デ買收スルモノハ、時

價ニ換算シテヤルト云フ御規定デアリ

マスガ、是ハドウ云フ理窟カラ出發シ

タ譯デアリマスカ、此點ヲ御伺致シタ

イノデアリマス

○志賀政府委員 御承知ノ通り公債ノ

額面ト時價トハ多少ノ何時ノ場合デモ

開キガアルノデアリマス、ソコデ建設

費デ買收致シマス場合ニ於テ、額面ダ

ケデ買ヒマス場合、例ヘバ百萬圓ノモノ

ヲ買ヒマス場合ニ、公債ノ時價ガ九十

五圓ト云フコトニナリマス、九十五萬

圓、百萬圓ノモノヲ九十五萬圓デ買フ

ト云フコトニナリマスカラ、ソレデハ

如何ニモ氣ノ毒デアルト云フ立場ヨリ

シテ、左様ナ弊害ヲ除カンガ爲ニ、建設

費以下ニナリマス場合ニハ、建設費ダ

ケノ現金ニ代ルベキ公債ヲ交付シヤ
ウ、斯ウ云フ意味ニナッタノデアリマ
ス、從來サウ云フ例ガアリマシテ、如何
ニモ氣ノ毒ニ考ヘラレルノデアリマ
ス、其不備ヲ補ハンガ爲ニ今回改正ラ
シヤウト云フコトニナッタノデアリマ
ス

○木檜委員 尙御伺シマスガ、只今ノ

御説明ニ依ルト、建設費以下デ買收ス

ルモノハ、假ニ百萬圓ノモノヲ公債時

價ニスルト、九十五萬圓ト云フ形ニナッ

テ氣ノ毒デアアル、斯ウ云フ御説明デス

ガ、是ハ御尤ノ理窟モ半面ニハアルガ、

又半面ヲ見ルト物價ト云フモノハ時ニ

依テ高低ガアリマスカラ、只今政府委

員ガ仰ッシャルヤウニ、百萬圓デ建設シ

タモノガ、買收スル年度ニナッテ、物價

ガ同ジナラ結構デアリマスケレドモ、

所謂大正八九年ト云フヤウナ物價ノ騰

貴シタ時代、今日ノヤウニアノ時ヨリ

較ベテ物價ノ下落シテ居ル時、斯ウ云

フ時ニナルト、百萬圓ノ建設費ガ掛ッテ

居テモ、ソレヲ買收スル爲ニ今日ニナッ

テ公債相場ガ假ニ九十五圓トシテモ、

ソレハ九十五萬圓ニナッテ、何等氣ノ毒

ニモ何ニモナラナイ、寧ロ高イモノヲ

賣付ケルコトニナル、サウデアリマス

カラ、只今政府委員ノ御説明ハ一應ノ

理窟ハアリマスガ、又物價ノ高イ時ニ

拵ヘタ建設物ハ政府ハミス、損ヲス

ル形ニナリマス、此點ハ盾ノ兩面ヲ見

テヤラナイト云フト、又利益ノコトモ

アリマセウガ、今迄交付公債デヤッテ差

支ナカッタモノヲ強ヒテ改メルト云フ

ノハ、他ニ何等カノ理窟ガナイノデア

リマスカ、唯ソレダケノ氣ノ毒ト云フ

觀念カラ出發シテ居ルモノデアリマス

カ

○志賀政府委員 御説ノ點ハ如何ニモ

御尤ノコトデアリマスガ、私ノ今申シ

マシタノハ、例ヘバ既往三箇年間五分

ノ利益ガアッタト云フ場合ニ於テハ、百

萬圓ノ建設費ガ相當ナモノト致シマシ

テ、詰リ建設費ダケデ買フト云フコト

ニナル其場合ニ於テハ實際ハ九十五萬

圓ニシカナラヌ、斯ウ云フ場合ニ於テ

ハ五萬圓ミス、損ヲスル、併ナガラ

今御説ノヤウナ場合、例ヘバ高イ時拵

ヘテ今日安クナッタ其場合ニ於テ、ソレ

ヲ前ノ建設費ヲ出シテ買フカドウカト

云フコトニナッテハ、是ハ其時ノ事情ニ

依リマスガ、是ハ其時ノ建設費デ買フ

ト云フ意味デナイ、建設費ノ金額以內

ニ於テ協定シタル金額デ買フト云フノ

デアリマスカラ、現在ミス、高イボ

ロノ會社ヲ建設費ダケ出シテ是非買フ

ト云フ立法ノ趣旨デハナイ、其場合ニ於テハ協定シタル金額デアリマスカラ、昨日申シマシタ通り百萬圓以內ニ於テドウ云フ風ニ協定ニナリマスカ、兎ニ角協定シテ之ヲ定メル、其點ハ十分考慮シテ價格ヲ決定スルコトニナリマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○木檜委員 只今ノ御説明デ益私ハ分ラナクナリマス、協定スルト云フカラ、尙更從來ノ如ク交付公債デヤツテ差支ナイ、所謂建設費以下デ協定シテヤル、ソレヲ此度改メテ從來交付公債額面デ買ツタモノヲ時價ニ致シタト云フト、大變ニ國家ハ損ヲ受ケナケレバナラス、協定ヲスルト云フ以上ハ相互相談シテ爲サルコトデアリマスカラ、交付公債デヤルノモ時價デヤルノモ矢張協定スル上ニ於テハ、其基礎條件ガ定ッテ居レバ同ジコトデアリマス、ソレヲ強ヒテ建設費以下デ買收スルモノヲ、茲ニ法律ヲ改メテ時價ニ爲サルト云フコトハ、却テ取扱上混雜ヲ來スノミナラズ、此間ニ取扱上面白クナイト私ハ思ヒマス、殊ニ今仰セノ法律ノ此規定ニハ協定ト云フコトガアル、協定ト云フコトガアル以上ハ、強ヒテ額面ヲ改メズニ、從來ノ方針通りデ宜シクハナイカ、斯ウ云フ判斷モ出來ルノデアリマス、假ニ時價ニ爲サネバナラスト云フ何カ理由ガアリマスナラバ、其理由ヲ一切御聞キシタイと思ッテ居リマス

○志賀政府委員 只今ノ點ハ木檜君ガ

安クナッタモノヲ恰モ建設費全部デ買フト云フヤウナ趣意ニ於テ御聞キニナツタカラ御答シタノデアリマス、此趣意ハ最高限度ヲ定メル、先程申シマシタル通り、例ヘバ三箇年間經過致シマセヌ鐵道ヲ買收致ス場合ニ於テ百萬圓ノ建設費ガ掛ル、即チ二箇年ナラ二箇年利益ガ五分アル、斯ウ云フ場合ニ於テ五分以上ニハ上ラヌガ、五分アルト假定致シマシテ、此場合ニ於テ今迄ノ法律ニ依テ買ヒマスト云フト、建設費ダケデ買フ、即チ百萬圓デ買ハナケレバナラス、其百萬圓ト云フノハ時價ニ依ラザル交付公債デアリマスカラ、九十五萬圓ト云フコトニナル、サウスルトミスミス五萬圓ト云フモノヲ——此五分ノ利益ヲ有スル所ノ會社ガ五萬圓ト云フモノヲ損ヲシナケレバナラスト云フコトニナル、是ハ數字上疑ナイ、ソコデ此場合ニ於キマシテ、其最高限度ガ只今ノ時價ニ換算シタル公債額面額ガアリマスト百十何萬即チ百萬圓ニ該當スルダケノ公債ヲ交付スルコトガ出來ル、併ナガラ舊法ニ依ルト、九十五萬圓ニ該當スルダケノ公債シカレナイ、斯ウ云フコトニナル、サウ云フ場合ニ於テハ非常ニ氣ノ毒デアアル、然ルニ只今木檜君ノ御話ニナッタヤウナ、元ハ大變金ガ掛ッタガ今ハ損ヲシテ居ル、サウシテ建設費モ隨分安く見ナケレバナラスト云フ場合ニハ、是ハ協定シテ決メ

點ノ御心配ハナイ筈デアルト申上ゲタノデアリマス、今氣ノ毒ト申シマシタルハ、今ノヤウナ開業三箇年未滿ノ線路ノ如キ、五分ノ利益ガアツテ而モ將來多少ノ利益ヲ見ラルベキモノガ、建設費ガ百萬圓デ相當ナノニ拘ラズ、ソレニ對シテ九十五萬圓シカ拂ヘナイ法律ノ規定ニナツテ居リマスカラ、此不公平ヲ矯正シナケレバナラスト云フ建前ニ於テ之ヲ直サウト云フノデアリマス、ソレデスカラ如何ニ協定シテモ最高限度ガ交付公債其儘ト云フコトニナリマス、ドウシテモ實際ノ建設費マデヲ拂フコトハ出來マセヌ、ソコデ最高限度ヲ引上ゲル趣意ニナル、左様御承知ヲ願ヒマス

○木檜委員 今御説明デゴザイマスガ、大體建設費デ買收スル、假ニ御説明ノ五分ノ配當利益ト云フヤウナ場合、斯ウ云フヤウナ私設鐵道買收ノ時ニハ、何方カト申シマスト、事業ヲヤツテ居ル側ハ買收サレルコトヲ希望シテ居ル、今仰セノ通り假ニ建設費ガ百萬圓掛ツテ、之ヲ從來ノヤウニ買上ゲル場合ニ、交付公債デヤレバ時價九十五萬圓ト云フコトニナツテ、五萬圓ミス／＼損ヲ與ヘテ氣ノ毒ダト仰ッシヤルケレドモ、利益ガ五分ト云フヤウナ會社デ斯ウ云フヤウナモノハ、普通常識カラ言ヘバ買ツテ貰フコトヲ希望シテ居ル、斯ウ云フ會社ニ對シテ今迄交付公債ノ額面デヤッタモノヲ、強ヒテ時價ニ換算スル

ト云フコトハ、賣ル方ハ有難イ譯デスガ、國家トシテ今迄公債額面デヤツテ参リマシタ其方針ヲ改メルト云フコトハ、唯會社側ノ方面ニ氣ノ毒デアアル、併シ會社側ノ方ヲ見ルト、寧ロ賣ルノヲ希望シテ居ル、五萬圓損ヲサセテ氣ノ毒ト云フケレドモ、會社ハ氣ノ毒ドロカ寧ロ買ツテ貰フコトヲ喜ンデ居ルノニ、是程迄ニ立入ツテ會社側ノ便利ヲ圖ラナイデモ、今迄ノ方針デ交付公債ノ額面デ宜クハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、唯今ノヤウニ時價ニ換算シテ百萬圓ノ物ヲ九十五萬圓ノ時價ニ相當スル交付公債デヤルノデハ五萬圓損ダカラ氣ノ毒ダト云フヤウナ理窟ダケデナク、他ニモット有力ナ時價ニシナケレバナラス理由ガアルノデスカ、其點ヲ更ニ御伺シタイ

○志賀政府委員 只今申上ゲマシタ以外ニ別ニ理由ハアリマセヌ、即チ第三十一條第一項第三號デ、只今工事中ノ線路竝買收ノ日迄ニ使用致シマセヌ線路ヲ必要上買フ場合ガアル、此場合ニ於テモ矢張建設費ヲ拂フト云フコトニナラナケレバナラス、左様ナ場合ニハキマシテ矢張掛ツタバケノ金ヲ拂ッテヤラナケレバ國家トシテ洵ニ不公平ナ取扱ヲスルコトニナルデアラウ、同様ニ前申シマシタ通り、開業三年ヲ經過セザル線路ニ付キマシテモ、同様建設費百萬圓ニナリマス場合ニ、建設費ニ該當スルダケノ代金ヲ拂ッテヤラナケレ

バ、是ハ甚ダ無理ナ仕事デナイカト斯
ウ考ヘテ居リマス、從來ノ規定ハ其點
ニ於テ缺ケテ居リマシタガ、ソレヲ補
フノデアツテ、木檜君ノ如ク五分ノ配當
ヲスル會社デハ、買ッテ貰ヒタイノガ當
然デアルト仰ッシャイマスガ、政府ハ左
様ニ考ヘマセヌ、開業シテ三年經過シ
ナイ中、國家ノ必要ニ依テ買収シマス
時ニ、開業二年ソコ一デ買収セラレ
ルコトヲ喜ブ會社ハ勿論無イ、損ヲス
ル會社デアルナラバソレハ別デアリマ
スケレドモ、損ヲセヌデ將來益見込ガ
アルト云フ場合ニ於テハ、買収ヲ希望
スル會社ノ有ル筈ハ無イ、其點ハ木檜
君ノ言ハレル御意見ト違ッテ居リマス、
別ニ外ニ何等ノ理由ハアリマセヌ、不
公平ナル現象ヲ矯正シヤウトスルノガ
改正案ノ目的ナデアリマス、左様御
承知ヲ願ヒマス

○木檜委員 尙伺ヒマスガ、協定ヲス
ルト云フ方針ハ、何カ内規デモ出來テ
オアリナサルカ、所謂當業者ト協定シ
テ金額ヲ決メルト云フ内規ガオアリナ
ラバ御聽シタイ、ソレカラ今一ツハ第
三十二條ノ百分ノ五以内ノ金額ヲ加算
スルト云フ、此斟酌ノ程度デスガ、是ハ
矢張御役人モ人デアリマスカラ、此斟
酌ノ程度ト云フモノハ餘程ムヅカシイ
ダラウト思ヒマス、其割合ハ命令ヲ以
テ定ムト云フコトデアリマスガ、大體
内容ガ御分リデアリマスカラ、斯ウ
云フ協定ヲシテ百分ノ五以内ヲ與ヘル

ト云フヤウナ事柄ヲ、賣ル人買フ人ガ
個人關係ナラバ宜シウゴザイマスガ、
一ツハ官省デアリマスカラ、斯ウ云フ
コトヲ決メルニモ、大體ノ御方針ガ茲
ニ規定シナクトモオアリナサルダラウ
ト思ヒマス、斯ウ云フコトハ事頗ル機
微ニ屬シテ官紀ノ上ニモ係ッテ、實行ノ
際ハ容易デアルガ、又餘程ムヅカシイ
問題デアルト思ッテ居リマス、是等ニ對
スル御用意モ定メシ御方針ガ規定シテ
アルト思ヒマスガ、御差支ノ無イ程度
ニ於テ伺ヒタイト思ヒマス

○福富政府委員 建設費以内ニ於テ協
定シタル金額、斯ウナッテ居リマスガ、
實際ハ殆ド建設費買フコトニナッテ
居リマス、若シ會社ノ方デ安クテモ宜
イト云フ場合ガアツタ場合ニ、現行法ニ
モ之ガゴザイマスガ、之ヲ取りマスト、
常ニ建設費買ハナケレバナラナイカ
ラ、會社ノ方デ若シ建設費以下デ宜イ
ト云フ場合ニハ、建設費以内デ協定シ
テモ宜カラウト云フノデ、現行法同様
ニ改正案モ此文字ヲ使ッテ居リマスガ、
實際ニ於キマシテハ常ニ建設費買ッ
テ居リマス、ソレカラ三十二條ノ百分
ノ五以内ノ加算金額トアリマスノハ、
是ハ昨日申上ゲタ通り、營業ノ狀況ニ
基クト申シマスノハ、現在ノ會社ノ營
業狀態ガドウデアるか、益金ノ歩合ガ
ドウデアるかト云フコト、又鐵道ト云
フモノハ、段々將來ハ良クナッテ行ク、
唯現在ノミノ成績ヲ見テ買フノモ酷デ

ハナイカ、多少將來延ビテ行ク程度ヲ
見テヤルノガ宜カラウト云フノデ、其
兩面カラ見マシテ百分ノ五以内ノ金額
ヲ加算スルコトニナッテ居リマス、サウ
シテ其營業ノ狀況ニ基キ加算スル金
額、或ハサウ云フ歩合ト云フモノハ御
說ノ通り命令ヲ以テ定ムルコトニナッ
テ居リマス、此命令ノ内容ハ實ハマダ
確定シテ居ナイノデアリマス、昨日モ
確力速記ヲ止メテ御話申シタト云フコ
トデアリマシタ、私ハ居リマセヌデシ
タガ、是ハ大藏省ニモ關係ガアリマス
シ、又法制局ニモ關係ガアリマスノデ、
腹案ダケナラバ非公式ニ申上ゲテモ宜
カラウト思ヒマス

〔速記中止〕

○清水委員 大臣ニ御伺致シタイノデ
アリマスガ、此度ノ地方鐵道ノ買収ノ
御趣旨ニ對シマシテハ大體ニ於キマシ
テ私等ハ結構ナコト、思ウテ居ルノデ
アリマス、唯其適用ニ當リマシテハ非
常ニ細心ノ注意ヲ用ヒナケレバナラヌ
ト思ウテ居ルノデアリマシテ、ソレデ
先般大臣ノ御答辯ニ依リマス、此改
正案ヲ適用スル趣旨ハ、現在ノ私設鐵
道ヲ買収スル場合ニ、私設鐵道ノ方デ
希望セナイデモ、此方ノ方カラ買ハナ
ケレバナラヌ事情ノ生ジタ時ニ、氣ノ
毒デアルカラト云フノデ改正ヲ加ヘタ
ト仰ッシャルガ、ソレハ甚ダ宜イノデア
リマス、併シドウモ近來ノ傾向ヲ見マ
スト、希望ノ方ガ多イ、現ニ先達大臣ノ

仰ッシャルヤウニ此度此方カラ進ンデ
買ヒタイト云フノハ十四線ノ中二三デ
アツテ、他ハ先方カラ希望シテ來タト云
フコトニナリマス、其適用ノ仕方ニ
付テハ此改正案ノ趣旨ニ私等ハ副ハナ
イヤウニ思フノガ甚ダ遺憾ナノデアリ
マス、私ハ甚ダ出過ギタ言分カモ知レ
マセヌケレドモ、大臣ノ考トシテ、現在
竝將來鐵道ト云フモノニ對スル御考ヲ
伺ヒタイト思ヒマス、之ニ關聯シテバ
アリマスガ、斯ウ云フコトナノデアリ
マス、結局私ノ大體伺ヒタイト思フ點
ハ、鐵道ノヤウナ特殊官廳ハ本當ニ次
官以下局長迄誠心誠意忠良ナル 陛下
ノ官吏トシテ働イテ、サウシテ黨弊ノ
生ズルコトノナイヤウニシナイ、詰リ
地方鐵道ノ改正ヲ實行スルニ當ッテハ、
黨弊ヲ此處ヘ加味セナイヤウニシテ戴
キタイ、斯ウ云フノガ私ノ今問ハウト
スル趣旨ナノデアリマスガ、又希望ス
ル趣旨ナノデアリマスガ、ドウモ大臣
ニ甚ダ申惡イコトデアリマスケレド
モ、個人的性格ニ於キマシテハ、私モ豫
テカラ存ジテ居リマシテ、又苦勞爲サッ
タ御方デ、物ノ分り易イ御方デ私ハ常
ニ敬服シテ居ルノデアリマス、併シド
ウモ公人トシテ、黨人トシテ、爲サレル
行動ニ關シマシテハ、全ク別人ノ感ジ
ヲ私等ガ懷クノデアリマス、ソレハ恐
ラク大臣ノ本意ヂヤナイカモ知レマセ
ヌ、或ハ黨ノ立場上餘儀ナク爲サルノ
カモ知レマセヌガ、併シ私ハ長カラザ

ル人生ニ於テ、心靜ニ大臣ガ御考ニナツタ時ニ、大臣ノ椅子ニ在ルコトガ、御國ノ爲ニナレバコソ大臣ノ椅子モ尊イノデアルト云フコトハ、疾ノ昔ニ御存知ノコトデアリマシテ、吾々ノヤウナモノガ申ス迄モナイコトデアリマス、常ニ國家本位、國民本位ノ政治ヲシナケレバナラヌト云フコトハ十二分ニ心ニ在ルニ拘ハラズ、動トモスルト、此鐵道關係ガ黨弊ノ生ズル所、黨勢擴張ニ特ニ用ヒラレルヤウナ感ジガアルノハ、甚ダ遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマス、殊ニ自分ノ如キハ長ク宮崎縣ニ居ッテ、宮崎縣ノ事情ヲ能ク知ッテ居ル、殊ニ水久保甚作君トハ親シイ仲デアアル、能ク手ニ執ル如ク知ッテ居リマスガ、甚ダ私等遺憾ニ思ウテ居ル、アノ外浦鐵道ト云フノハ、都城カラ外浦ノ間ニアノ線路ガ出來ルト云フコトハ何時ノ頃カ想像ガ付カナイ、アレヲ手ニ入レルノニ地方民ヲシテ、水久保君ガ入黨スルヤウニ仕向ケテ入黨サシテ、初メテ彼處ニ入レルト云フヤウナ遺口ハドウモ私等ハ大臣ノ本義トハ思ハナイ、善イコトヲ爲サル上ニ於テ、其結果トシテアレガ通過シタ後ニ於テ、宮崎縣ノ人等ガ、恩ニ感ジテ其政策ニ共鳴シテ、入黨サレルナラバ、是ハ大臣ノ人格ナリ、人ト爲リニ副フテ相應ハシイコトデアアルケレドモ、吾々ガ知ッテ居ル大臣ノ性格カラ申スト、左様ナコトハ吾々ノ想像モ付カヌノデアリマス、今更私ガ過ギタ

コトヲ彼此レ申上グルノデアリマセヌケレドモ、現在鐵道ニ於キマシテモ、監督局長ナリ、經理局長ナリ、或ハ又建設局長ト云フモノハ何レモ皆其立場上非常ニ黨弊ニ侵サレ易イ立場ニ在ルノデアリマス、私ノ希望スルノハ斯ウ云フ事務官ノ御方ガ本當ニ鐵道ノ爲國ノ爲ヲ思フテ眞劍ニ爲サルコトハ成ベク容レテ、サウシテソレ等ノ言フコトヲ聞イテ仕事ヲ爲サルノヲ主ニシナケレバナラヌ、勿論黨ノ立場カラモ御政策モアリマセウ、政策ニ副ハヌコトハソレハ御考通リニオヤリ下スッテ結構デアリマスガ、此事務官ノ意見ヲ十二分ニ尊重シテ、鐵道デ叩上ゲテ本當ニ鐵道ノ事ヲ知ッテ居ラレル御方々デアルカラ、アノ人等ノ意見ヲ容レテ、此地方鐵道ノ改正ナドニ適用爲サッタナラバ、萬遺漏ナキヲ期スルノデヤナカラウカト思フ、然ルニ外カラ代議士ノ要求ヲ容レテ無理矢理ニ、其間ニ妙ナ事ガ起ッテ、是ガ吾々ノ耳ニ入ルコトハ、實ニ國家ノ前途ノ爲ニ特ニ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマシテ、此案ヲ審議スルニ致シテモ大臣ノ本當ノ僞ラザル告白ヲ聽イテ置キタイノデアリマス、サウシマセヌト是ガ通過シテモ今度ノ私設鐵道買収ニ適用サレルノカト思フト、吾々ハドウシテモ賛成ガ出來ナイ、是ガ通過シテモ世ノ中ニ對シテ飽迄モ不當デアルト主張シナケレバナラヌ動カスベカラザル所ノモノガアル

ノデアリマス、私等ハ其處ニ付テ止ムニ止マラヌ決心ヲ持ッテ居ル一人デアアル、故ニ此地方鐵道ノ改正案ヲソレニ適用スルト云フコトニ付テハ、實ニ意ニ滿タヌノデアアル、此改正案其モノニ付テハ私ハ滿腔ノ敬意ヲ拂ヒ、滿腔ノ同意ヲ表スルノデアアル、故ニ之ヲ先ニ出サレズ、之ヲ後デ出サレルニ至ッテハ、私等ハソレハ甚ダ遺憾ニ思フ、ソレハ心ニモナイ不本意デアッタカモ知レマセヌ、併ナガラ私ノ眼カラ見テハ何等カノ爲ニスルコトガアルヤウニ見ラレテモ止ムヲ得ヌ點ガアルノデアリマス、餘リ長談義シテ他ノ人ノ質問ヲ妨ゲルノモ本意デアリマセヌカラ、此點ダケヲ伺ッテ、大臣ノ本當ノ心持ヲ聞イテ更ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○小川國務大臣 ドウ云フコトヲ御問ニナリマシタカ能ク御質問ノ趣意ガ分リマセヌ、大抵御非難ト御意見ノヤウデアリマシタガ、其中ニ此鐵道ノ官吏ノコトニ付テ 陛下ノ官吏トシテ忠實ニ義務ヲ盡ストカ盡サヌトカ云フ御話ガアリマシタ、左様ナコトハドウ云フ趣意デ御話ニナルノデアリマスカ、少シ役所ノ事情ヲ御調ニナッタ宜カラウト思フ、鐵道省ノ役人ニハ黨人トシテヤッテ居ル者ハアリマセヌ、多クノ人デアリマスカラ、民政黨ノ好キナ人モ、政友會ノ好キナ人モアリマセウ、地方ニ於テモ彼此レ最負モアリマセウケレドモ、中央ニ於テ殊ニ要路ニ當ッテ居ル者ガ黨派ニ關係シテ黨派心ヲ持ッテヤルト云フ者ハ一人モアリマセヌ、是ハ貴族院デモ本會議ノ場合ニ於テ佐竹君ノ御問ニ對シテ私ハ佐竹君ニ反問的ニ申上ゲタノデアリマス、鐵道省ノ役人ニサウ云フ者ガアルカト却テ御尋シタ位デアリマス、總テ線路ノ選定等ニ付テハ大方針ハ私ガ立テマス、サウシテ斯ウ云フ方針ニ基イテ鐵道ノ買收線路ヲ選定スル、或ハ建設ノ線路ヲ選定スル、其方針ニ基イテ研究シタ案ヲ立テルノハ私ノ部下ニ居ル局長、並其下ノ當局ノ役人ガ立テルノデアアル、其手續ニ付テハ清水君ハ能ク知ッテオイデデアラウト思フ、其出來タ案ニ私ガ判斷シテ決定スル、斯ウ云フ順ニナッテ居ル、唯私ノ事ニ付テ色々御非難ニナルコトハ御自由デ、宜シウゴザイマスガ、併シ私ハ地方鐵道法ヲ買収法案ヨリ遲レテ出シタト云フコトニ付テハ、本會議ニ於テモ能ク御答シチアル、其以上ノ事ハ——何カ私ガ特別ノ考デヤルノダト云フコトハ、ソレハ、御自由ニ御考ニナルガ宜シイガ、其事ハ私ハ一度答辯シテ居リマスカラ是ハ申上ゲマセヌ、ソレカラ水久保云々ト言フケレドモ、若シ宮崎縣ノコトヲ言フナラバ、清水君ハ私ヨリ能ク御存知デセウ、水久保君ハ一體何時頃カラ政友會ニ入ッテ居ルカ、昨年ノ春頃カラ入り掛ケテ居ルデアリマセヌカ、サウシテ私ハ地方ノ細カイ事ハ知リマセヌガ、段々

事情が重テ來テ入ッタモノト思フ、其間ニ於テ鐵道ノ選定ヲシテアリマス、併シ私ガ拵ヘテヤルカラ入レト言ウタコトハアリマセヌ

○若宮委員長 清水君質疑デアリマスカラ、餘計ナ御注意ノヤウデアリマスガ、意見ノ陳述ハ討論ノ際ニ御願致シマス

○清水委員 私ハ今水久保君ノ御話ガアリマシタカラ、其方ヲ話サウト思ヒマスケレドモ、是ハ此案ニ關係ノナイ事デ一ツノ例ニ引イタバケデスカラ是デ終リ、大臣ト爭フコトハ甚ダ本意デアリマス、併ナガラ水久保君カラ私ハ本當ニ打明ケテ聞イタコトニ依テ申上ゲタバケデアリマスカラ、唯其一言ヲ殘シテ其外ノ事ハ言ヒマセヌ、是ハ大臣ガ餘リ御考ニナッテ居ラヌコトカモ知レマセヌガ、第九條ヲ削除爲サツタ御趣旨ハドウ云フノデゴザイマスカ

○福富政府委員 地方鐵道會社ノ兼業ヲ從來ハ認可シテ居リマシタガ、今回之ヲ削除シテ自由ニヤラセルコトニシマシタ、從來ノ經驗ニ依リマシテモ、兼業ヲ敢テ認可シナクテ、會社當事者ニ委シテモ何等弊害ナイト思フノデアリマス、既ニ軌道法ニ於キマシテモ、軌道ニハ兼業ハ自由ニシテアリマシテ、何等弊害ハナイ、斯ウ云フ弊害ノナイコトヲ態々認可ヲ要スルト云フコトハ、非常ニ事務簡捷上面白クナイノデアリマス、事務簡捷上是ハ削除致シマシタ

○清水委員 此兼業ハ從來許可ヲ要スルコトニシテ居ッタノハ、私設鐵道ノ經營ハ中々困難デアッテ最初ノ十年位ハ利益ヲ擧ゲルコトハ餘程骨ガ折レルカラ、飛ンデモナイ所ニ手ヲ出シテ鐵道ノ經營ヲ更ニ困難ニナラシメハセヌカト云フ懸念カラ兼業スル場合ニ許可ヲ要スルコトニシタ筈ト思ッテ居リマス、隨テ其精神ダケハ殘シテモ宜カリサウニ思フ、許可ヲ要シナイコトニシテモ、鐵道ノ經營ヲ助長スルヤウナ營業ノ外ハ他ノ營業ヲ兼ヌルコトハ出來ナイト云フヤウナ規定ハ殘シテ置ク方ガ親切デハナカラウカ、其方ガ安全デハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマスルガ、是ハ大臣カラ御答辯ヲ願ヒマス

○小川國務大臣 私ヨリモ政府委員ノ方ガ精シクゴザイマスカラ政府委員カラ申上ゲマス

○福富政府委員 段々地方鐵道ノ經營者モ其經營方法ガ非常ニ巧クナリマシテ、幾ラ兼業シマシテモ、ソレガ爲ニ本體タル地方鐵道ニ影響ヲ及ボスヤウナ經營方法ヲ近來スル者ハナイヤウデアリマス、又從來トモ何等弊害ハナイノデアリマス、自由ニ許スガ、尙事後監督ト云フモノガ出來ルノデアリマス、既ニ營業狀態モ監督シテ居ルシ、或ハ會計ノ方ノ監査モヤリマシテ、若シ其兼業ノ爲ニ地方鐵道ガ危険ヲ受ケルト云フ場合ニハ、監督ノ方法ニ依リマシテ之ヲ抑ヘル、或ハ注意ヲ與ヘル、或ハ止

メサセルト云フコトガ出來マス、清水君ノ仰ッシャルヤウナ弊害ハ私ハナイト思フノデアリマス

○清水委員 今仰ッシャルヤウニ何カ兼業シタ爲ニ會社ノ經營ガ困難ニナルヤウナ時ニ、監督權デアル時ニ餘程困難ヲ來スノデス、隨テ私ガ今申上ゲタヤウナ規程ヲ存シテ置ケバ、詰リ鐵道ノ經營ヲ助長スルヤウナ營業ノ外ハ他ノ營業ヲ兼ヌルコトヲ得ズト云フ條文ヲハッキリ殘シテ置ケバ、監督ガ非常ニシ易イ、何モ強ヒテソナ監督ノ困難ナヤウニシテ置カナイデ、現在ノ規定ガ既ニ許可ヲ要スルト云フコトデアッタノデアアルカラ、唯許可サヘ要ラヌヤウニシテ置ケバ宜イノデアアルカラ、其趣旨サヘ達スレバ宜イノダカラ、許可ノナイヤウニシテ置イタ方ガ親切デハナイカ安心デハナイカト思フノデアリマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○福富政府委員 私ト清水君ノ見解ガ少シ違ッテ居ルヤウデアリマス、現ニ軌道ニ於テモ從來カラ規定ハナイノデアリマシテ、何等弊害モナクヤッテ居リマス、地方鐵道ノ方ノ此規定モ削除シテモ宜カラウ、又事務簡捷上非常ニ便利ニナルト云フ趣旨デ廢シタノデアリマス

○清水委員 今弊害ナイト仰ッシャルケレドモ、私ハアルト信ズル者デアリマス、アルト信ズルガ故ニ申上ゲルノデアリマスガ、サウ云フ場合ガ出來タ

トキニハッキリモウ困ルコトハ分ッテ居ルデアリマセヌカ、貴方ハ監督スルト言フガ、ドウシテ止メサセルコトガ出來マスカ、ドノ監督權デ、私ノ言フ會社ノ營業ヲ助長スルヤウナ營業ノ外ハ他ノ營業ヲ兼ヌルコトヲ得ズト云フ條文ガナイ場合ニハ、ドノ規定ニ依テ貴方ハ監督ヲシテソレヲ止メサセルコトガ出來マスカ

○福富政府委員 地方鐵道ノ方ニハサウ云フ規定ハアリマセヌガ、或ハ會計規定トカ其他常ニ營業ノ監督ヲシテ居リマスカラ、營業ノ監督ノ規定モ地方鐵道法ノ第二十三條ニ在リマス、營業監督ノ權限ヲ與ヘラレテ居リ、地方鐵道會計規程デ會計ノ方ハ監査ヲヤリマス

○清水委員 ソレハ省令デセウ

○福富政府委員 サウデアリマス

○清水委員 サウ云フ弱イ省令デハ駄目デアアル、法律デハッキリ定メテ置イテ差支ナイ、單ニソレガアツタ所デ、何モ私ノ言フヤウナ規定ヲ設ケテ置イテモ邪魔ニハナリハシナイ、一向邪魔ニナラヌ規定ナラ置イタ方ガ宜イデアリマセヌカ、何モ私ノ言フ其說ニ反對スル根據ハナイデヤナイカ、貴方ノ御説ヲ聽イテ私ノ意見ヲ撤回シナケレバナラヌ根本的ナ考ハ露程モ起キナイ、常識デ考ヘテサウデアリマセヌカ

○福富政府委員 清水君ノ御説ハ現在ノ規定トモ變ッタ規定ヲ置カウト云フ

御意見デアリマス

○清水委員 ダカラサウ云フ意思ガナイカト云フコトヲ聞イテ居ル

○福富政府委員 目下サウ云フ意思ハ持ッテ居リマセヌ

○清水委員 貴方ニ聞イテ居ルノデハナイ大臣ニ聞イテ居リマス

○小川國務大臣 政府委員ノ説ハ大臣ト同ジコトデス

○清水委員 ソレデハ重ネテ御伺致シマス、成程一々許可ヲ要スルコトハ不便デセウ、併ナガラ許可ヲ要シナイコト

デ現行法ノ趣旨ヲ達スルヤウナ規定ヲ存スルコトガ親切デハナイカ、斯ウ云

フノデアリマスガ、大臣ガソレニ反對ナラバ私等ハ他ノ委員諸君ト懇談ヲ遂

ゲマシテ、或ハ後刻修正意見ヲ出スカモ知レマセヌ、他ノ委員ノ方々ノ同意

ヲ得タ上デナケレバ出来マセヌガ、何モ是ハ黨勢擴張ノ爲メデアリマセヌカ

ラ、政友會ノ諸君ト雖賛成デ居ラル、方ガナイトモ限ラヌト思フ、多々居ラ

レルダラウト思ヒマスルカラ、熟議ヲ遂ゲマシテ何レ修正意見ヲ出スカモ知レマセヌ、此點ヲ申上ゲテ置キマ

ス

○小川國務大臣 大體ノ考ガ成ベクハ此干涉ハ少ナクシタイト云フノガ私ノ

考デス、地方ノ鐵道ト云フモノハ二十年

前ニ比ベレバ隨分經營者ノ知識ナリ經驗ナリ又人格ナリガ進歩シテ居

リマス、又自衛ノ途ヲ講ズルト云フコ

トモ、隨分鐵道自ラガ十分ニ自衛自發

ト云フコトヲヤツテ居ルノデアリマスカラ、政府ハ成ベク細イ事ニハ干涉

シナイ方ガ宜イト云フ方針デ、兼業ヲ營ムコトニ付テハ鐵道省ノ認可ヲ要シ

ナイ方ガ宜イ、鐵道省ハ監督權ヲ持ッテ居リマスカラ、成タケ細イ事ニハ手ヲ

出サナイ方ガ宜イ、又會社トシテモ、サウ干涉セラレルコトハ却テ迷惑デア

ルシ、繁文縟禮デアルカラ、サウ云フ事ニハ手出シヲシナイ方ガ宜イト思フ、此

趣旨ニ付テハ、大體清水君ナドモサウ云フ御考デハナカッタデセウカ、ソレヲ

反對ニ段々中央ヘ權力ヲ收メテ、細イ事ニマデ中央ガ手ヲ出スト云フコト

ハ、是ハ寧ロ時代ニ逆行シテ居ルコトト思ヒマス、兼業ヲ鐵道省ニ願ッテヤ

ラナイデモ、自分デ自分ガ兼業ヲスルコトガ善イカ惡イカト云フコトヲ判斷シ

テヤルデアリマセウ、ソレハ損ヲスルコトモアリマセウ、アリマセウガ國家

ガソナ細イ事ニマデ手ヲ出シテ、粉細工デモ造上グルヤウニ細カイ事ニ

マデ手ヲ出サナイ方ガ宜カラウ、大抵自分デ判斷シテヤツテ行クコトデア

ルカラ、損ヲシテモ仕方アリマスマイ、ソナナ事ニマデ手ヲ出シテヤラナイデ

モ宜イ、自分デ自分ノ商賣ダケハヤラセテ行クト云フコトガ宜イ、サウ云フ

積リデアリマス

○清水委員 大臣ハ私ノ言フコトガ御

申上ゲテ、モウ一遍答辯ヲ煩シテ見タ

イ、私ハ今大臣ノ仰シヤルコトニ賛成デアルト言ッテ居ル、反對ト云フコトヲ

言ッテ居ラナイ、許可ヲ要スルコトハ要ラナイ、許可ヲ要シナイデモ其趣旨ヲ

達スル方法ヲ講ジタラドウカ、ソレハ現在ノ規定ハ許可ヲ要スルコトニナッ

テ居ルガ、許可ヲ要シナイデ、即チ鐵道經營ヲ助長スル營業ニアラザレバ他

ノ營業ヲ營ムコトヲ得ズト云フヤウナ條文ニシタナラバ、許可モ要ラナイデ

監督モ出来易ク會社モ安全デアリ、何モ差障ル所ハナイデハナイカ、斯ウ云

フ意味デアリマス

○小川國務大臣 之ヲ削ッタノガイカ

スト云フ御趣旨ト承ッタモノデスカラ、削ッタノハ結構デアルト云フ御答辯ヲ

申上ゲタノデアリマス、其外ニ鐵道自身ノ發展スル方法ガアレバ、ソレハ差

支ナイ限り心配ヲ致スコトニ致シマス

○若宮委員長 工藤君、貴方ガ鐵道大臣ノ出席ヲ求メラレテ居リマスカラ

……

○工藤委員 今日ハ午後モオヤリニナリマス

○若宮委員長 午後モヤリマスガ、鐵道大臣ハ貴族院ノ方ヘ出席シナケレバ

ケレバナラヌト云フコトデアリマスカラ、大臣ハ多分午後ハムヅカシカラウ

ト思ヒマス

○小川國務大臣 貴族院ハ今日初メテ

ノ會デスカラ、午後一時カラ是非出ル

ヤウニト申サレテ居リマス

○工藤委員 尙此機會ニ委員長ニ御願

ヲ致シマス、今日ハ吾々ノ同志ノ山本君ノ告別式デアリマシテ、吾々同職ノ

關係カラ見マスルト、何トシテモ今日ハ告別式ニ出テ、私共ノ弔意ヲ表シタ

イト考ヘマス、恐ラク私バカリデハアリマス

○若宮委員長 斯ク申ス私モ同様デアリマス——十二時半頃迄ヤルコトニシ

テハ……

○工藤委員 時間ガアリマセヌ、午後一時カラデスカラ——私ノ考デハ二時

半カ三時頃再會シテ戴キタイ、ソレ迄吾々ニ時間ヲ與ヘルヤウニシテ御開キ

ヲ願フト云フノガ希望デス、若シ十二時半迄オヤリニナルト云フナラバソレデ

モ宜シウゴザイマスガ、ドウシマスカナリマス

○若宮委員長 ヤリマセウ、オヤリニナリマス

○工藤委員 私ノハ可ナリ問題モ大キ

イシ、鐵道大臣ダケデハ中々答辯ノ出

來ナイモノモアルカラ、矢張他ノ政府

委員ヤ事務官モ御出デノ席デ、其處デ

評議ヲセラレテ御答ヲ願ッタ方ガ都合

ガ好イト考ヘマス、ソレハ問題ハ澤山

アリマスガ、此間私ハ小川鐵道大臣ニ、

日本ノ鐵道政策ニ關スル重大ナル問題

ニ付テ質問ヲ申上ゲテ居ッタノデアリ

マスケレドモ、時間ノ都合デ半パニシ

テ終リマシタ、後デ速記録ヲ見マシタ

ケレドモ、ドウモ大臣ノ御答辯ハ私ノ

問ウタ主旨ニハ箝ッテ居ラナイ、枝葉末節ニ因ハレル答辯バカリデ、私トシテハ誠ニ遺憾ニ思ヒマス、鐵道大臣トシマシテハ、素ヨリ帝國鐵道ノ建設ノ大主旨ト云フモノヲ能ク了解シテ居ラナケレバナラヌ答デアルノニ、答辯ガ常ニ細カイ所バカリニ行クノヲ私ハ甚ダ残念ニ思ッテ居リマス、デ私ノ伺ヒタイコトハ澤山アリマス、澤山アリマスケレドモ、根本ノ問題ヲ質問シテ居ルノデアリマス、例ヘバ國有鐵道法實施以來、私有鐵道ヲ千四百哩モ許シテ居ルガ其中三分ノ二以上ト云フモノハ未ダ開業シテ居ラナイ、而モ現内閣ニ至ッテハ著シク私有鐵道ヲ許シテ居ル、其私有鐵道ハ、鐵道大臣ノ御答ニ依テ考ヘテ見ルト、將來買收スベキ線ニナルノデアアル、隨テ今回改正案トシテ出サレタ地方鐵道法及軌道法中ノ改正法律案ニハ非常ナル關係ヲ持ッテ居ル、然ルニ此私有鐵道ヲ斯ノ如ク、恐ラクハ無軌道のニ許シテ居ル、何モ方針ガ無イト云フコトガ分ッタ、吾々ガ鐵道敷設法ヲ協賛シタ所以ノモノハ何デアアルカト云フト、言フ迄モナク日本ノ大國策ノ一トシテ交通機關ヲ完成シナケレバナラヌ、而モ之ヲ民間ノ營利事業ニ委セテ置イテハ、國防上、産業發展上、交通機關トシテ重大ナル使命アル鐵道ヲ完成スルコトガ出來ナイカラ、國ノ力ヲ以テシナケレバナラヌ、而シテ又茲ニ我が鐵道ノ發展モアルト云フ所カ

ラ、鐵道國有法ト云フモノガ制定セラレタノデアリマス、故ニ日本帝國ノ鐵道ノ根幹トナルベキ十七線ト云フモノヲ買收シテ、國有主義ヲ完成シヤウト云フコトデアッタ、而シテ之ニ付テハ國ノ財力ト云フモノニ關係ガアルノデアリマデガ、現内閣ハ、是ハ小川鐵道大臣ノ曾テ發表シタ意見デ、私ハ其新聞モ持ッテ居リマスガ、鐵道ノ金ト云フモノハ國家ガ造ラナケレバナラヌ、ドシ〜金ヲ拵ヘテ、鐵道ヲ建設スルコトガ宜イ、所謂國費ヲ以テ鐵道ヲ造ルト云フ所ノ方針、ソレハ小川鐵道大臣ノ從來ノ意見デモアリ、政友會ノ方針デモアリ、恐ラクハ現内閣ノ積極的政策ト云フモノハ其處ニ在ル、サウ云フ所カラ此帝國鐵道ト云フモノハ政府ノ力ヲ以テ、國費ヲ以テ、所謂國有主義ヲ實行スルト云フコトニナッテ、多大ノ犠牲ヲ拂ッタ結果、着々トシテ成功シテ居ル、所ガ今内閣ニナッテカラ千何百哩ノ私有鐵道ノ許可ヲ與ヘ、而モ其大部分ハ豫定線デアアル、即チ帝國鐵道ノ理想トシテ、國有鐵道ニスベキ線ヲドシ〜許シテ居ル、サウシテ事實ハ田舎ノ慾張り資本家ヲ誘ッテ、儲カリモシナイヤウナ線ニ金ヲ投ゼシメルヤウナコトヲシテ見タリ、或ハ非公式デアアリマスケレドモ、將來買收シタルト云フヤウナ豫約ヲシテ見タリ、可ナリ出放題ノコトヲシテ居ル事實ヲ私共ハ知ッテ居ルノデアリマス、デ此間小川鐵道大臣ニ此點ヲ私ハ伺ッ

タ、國有鐵道政策ト云フモノハ帝國ノ國策ノ上ニ重大ナモノデアアルカラ、此帝國ノ國策ヲ實行スルガ爲ニ、其補助ノ機關トシテ私有鐵道モ許シ、國有線ヲ培養スルト云フコトモ必要デアアルノデアラウ、然レドモ私有鐵道ヲ許スナラバ、國有鐵道ノ豫定線即チ鐵道網ガアルガ如ク、私有鐵道ニ關シテモ斯ウ云フモノハ私有鐵道デスルガ宜カラウト云フコトノ、所謂國有鐵道網ノヤウナモノデモ拵ヘル考ガアルカト云フコトヲ言ッタ所ガ、其點ハ答ヘテ吳レナイ、是ハ國有鐵道ト離ルベカラザルモノデアアル、ソレニモ拘ラズ殆ド無方針ニ之ヲ許シテ居ル、鐵道敷設法ノ第一條ニハ帝國鐵道ヲ完成スルガ爲ニ政府ノ敷設スベキ豫定線路ハ別表ニアルト掲ゲテアッテ、第三條ニ地方ノ爲ニスル鐵道ハ地方鐵道トシテ許可スルト云フノデ、地方鐵道ト云フモノハ鐵道敷設法ノ例外規定ニナッテ居ル、此ノ例外規定モ之ヲ許可スルニ付テノ直接ノ標準ガアル譯デアアルケレドモ、國策トシテ私有鐵道ノ網ニ入レルト云フコトニ付テハ、殆ド無方針デアアル、是デハ帝國鐵道ノ大使命ヲ果ス爲ニ國有主義ヲ貫徹スルガ爲ニ、ヤッテ行クトハ夢ニモ思ヘナ

イ、之ヲ貴方ニ伺ッタノデアリマスガドウモ分ラナイ、實ハトボケテ居ルノダラウト初メハ思ッテ居ッタノダガ、段々ヤッテ見ルト徹底シタ考ガナイ、國有鐵道ニハ敷設法ガアッテ政府ノ力デスベキ鐵道ヲ別表ニ依テ明ニシテ居ル、然ラバ私有鐵道ヲ許可スルニ付テノ許可ノ事務的ノ方針ガアル、地方ノ開發云云ト云フヤウナ三四箇條ノ要項ガアルケレドモ、此私有鐵道ニモ國有鐵道ノ鐵道網ノ如キシカリシタ大方針ガ定ッテ居リ、帝國鐵道ノ國有主義ヲ保護シ之ヲ發展セシムル所ノ途ガアルノデハナイカト私ハ思フカラ、之ヲ此間カラ繰返シテ伺ッタ所ガ、後デ速記録ヲ御覽ナサイ、隨分貴方ノ答辯ハ的ヲ外レテ居リマスカラ、ソレデ此點ヲ能ク御考ヲ願ヒタイ、是カラ伺ッテ尙進ミマス

○小川國務大臣 工藤君ノ御質問ガ私ノ方ニハ分リ兼ねタノデアリマセウ、答辯ガ的ヲ外レテ居ッタト云フコトデアリマスカラ——今日ハ餘程分リマシタ、ソレデ此前ノ私ガ申上ゲタヤウナ趣意デ、私ノ考ト貴方ノ方ノ考ト違フノデアリマス、全國ニ對シテ國鐵道ヲ架ケタイト云フモノハ段々調査ヲシテ御承知ノ通り鐵道網ニ編入シテ來タ、此國家デ架ケタイト云フ鐵道ノ外ニ私設鐵道ニ許スベキ鐵道ノ豫定線ト云フモノヲ決メテ、先ヅ普通ノ言葉デ云フト私有鐵道ヲ許ス、鐵道網ヲ政府デ作ッタルドウカト云フコトデアリマデガ、ソレハハル考ハナイ、イケナイト考ヘルノデアリマス、何トナレバ全國ニ於テ必要ナル鐵道ハ國デ架ケル分ハ國デ段々調査シテヤッテ居リマスガ、其外ニモ鐵道ハ何處ニモ架ケタイノデ

アリマスガ、私設ノ會社ニ許スモノヲ是々ト云フコトヲ決メマシテモ或ル場合ニハ一向私設會社ガソレヲヤッテ吳レナイ、即チ民間ニ於テ之ヲ營利上相當デアルト云フノ希望シテ初メテ出來ル事業デアリマスカラ、政府デ紙ノ上ニ線路ヲ引張ッテモ或ル地方ハ引張り放シテ何時迄經ッテモ出來ナイ、即チ空文ニ終ル、又或ル地方ハ直グニソレヲ出願シテ權利ヲ取ッテ置クト云フ惡弊ガ出來ル、惡弊ガ出來ルト云フト却テ本當ニ企業ヲスル人ノ本當ニ鐵道ヲ架ケル人ノ妨ゲヲ爲スト云フコトニナル、恐レル所ハ其處デアアル、政府ガ徒ニ紙ノ上ニ線ヲ引張ッテ、斯ウ云フモノヲ民間ニ許ス積リダト云フコトヲ發表スレバ、恐ラクハ權利取リガ續出シテ來ルデアラウ、ソレヨリモ自然ニ放ッテ置ケバ民間ノ人ハ今日ハ進歩シテ居リマスカラ、チャンス能ク經濟ノ事情ナリ、土地ノ實況ヲ調べテ、サウシテ是ハ架ケテ割ニ合フ、會社ガ成立ツ、商賣ニナルト云フノヲ選ンデ段々出願シテ來マスカラ、其中デ政府ガ認メテ行ケバ其方ガ却テ實際ニ適合シテ宜シイ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、政府デ國有鐵道ノ網ヲ作ル外ニ、豫定的ニ鐵道ノ網ヲ作ルト云フコトハイケナイト云フコトニナッテ居リマス、故ニサウ云フモノハ作リマセヌ

○工藤委員 ソコデ私ハ小川鐵道大臣ニ伺フ、大正十一年ニ鐵道敷設法ヲ拵ヘテ國有主義ヲ確立シテ以來政府ガ爲スベキ事業ハ豫定線ヲ拵ヘテ吾々ニ協賛ヲ求メタコトハ屢アリマス、然ルニ其豫定線路ヲコンナニアナタ方ハ許可シテ居ルデヤナイカ、國家ガスルモノナリトシテ、地方民ニ希望ヲ屬セシメテ吾々モ其意味ニ於テ國有鐵道ヲ完成スル意味ニ於テ協賛シテ居ル、貴族院ニ於テモ之ニ付テハ大論戰ガアッタノデアリマス、詰リ豫算ノ件ハナイ豫定線ヲ國家ガヤルトシテ、斯ウ云フ具合ニ別表ニ掲ゲルト云フコトハ、地方民ヲ惑ハシテ而シテ國家ガ空證文ヲ出スヤウナモノデアッテ、非常ナ弊害ガアルデヤナイカト云フコトニ對シテ、政府ハ必ズ國有鐵道トシテ之ヲ斷行スルト云フコトヲ明言シテ居ルデハナイカ、是ハ同ジ政友會内閣デアリマス、斯様な工合ニシテ爾來豫定線ハ追加ニ追加ヲ重ネテ、帝國議會開ケル毎ニ歷代ノ内閣ハ新線ヲ追加シテ居ル、其追加シテ國デ拵ヘテヤルト云ウテ聲明シテ居ッタモノヲ、片端カラ私營鐵道ヲ許スト云フノハ何故デアリマスカ、若シ私有鐵道ニ許スダケノ理由ガアルナラバ初ヨリ國有鐵道トシテノ豫定線ノ表ヲ作リ協賛ヲ求ムルコトヲ廢メテ、此分ダケハ地方開發ノ爲ニ、鐵道敷設法ノ第三條ニアルヤウニ、地方開發ノ爲ニ已ムヲ得ナイト云フコトニナレバ、吾等ノ協賛權ヲ弄用スルヤウナ弊害ハ起ラナイノデアリマス、是ハアナタ方ト

私トノ議論ノ違フ所デアアル、鐵道網ヲ作ル作ラヌト云フコトハ必シモ私共ハ要求シテ居ルノデハナイ、一定ノ方針ガナイカラ、此間ニハ買収運動ガ始マリ、土地ノ騰貴運動ガ始マリ、政府若クハ政友會ノ間ニ結託ノ事實モアル、斯ウ云フコトガ兎ニ角政治上ニ於テハ陰鬱ナル空氣ヲ造ッテ我國ノ人心ノ上ニモ餘リ宜クナイカラシテ、現内閣ハ昭和二年ノ四月以來千何百哩ノ私設鐵道ヲ許シ、而モ其大部分ハ鐵道敷設法ニ依テ、嘗テ吾々ニ協賛ヲ求メタモノデハナイカ、是ガ今ニナッテ私ガ根本問題ヲ聞クト、何等政府ハ考ヘテ居ラヌト云フ、考ヘテ居ラヌノデハナイ、殆ド無方針デアアル、無經緯デアアル、而モ一度口ヲ開ケバ國有鐵道ハ斯ウシナケレバナラヌ、交通ガドウノ軍事ガドウノ言ッテ居ルガ、愈内閣ヲ取ッテ其多年ノ主張ヲ實現スル時ガ來レバ、金ガ無クテ出來ナイカラ地方鐵道ニ許ス、初カラ國家ノ財政ガ困ッテ居ルト云フコトハ何モ今日分ッタノデハナイデヤアリマセヌカ、大正十三年十四年ニアナタ方ガ護憲内閣ニ這入ッテ、而シテ途中デ分レテサウシテ爾來アナタ方ノ主張ト云フモノハドウ云フコトヲ言ヒマシタカ、民間ニ居ッテモ其論ヲスル、國家ノ力ヲ以テ交通機關ヲ完成シテヤルノダト言ウテ居ラレル、只今ノ政務官モ大臣モ其點ニ付テハ私共地方到ル處ニ於テ言質ヲ取ッテ居ル、サウ云フコトデアアルガ、是モ

國策ノ一ツデアアルカラ、吾々ハ常ニ國家財政ト相俟ッテ鐵道ヲ完成シタイ、國有主義ヲ實行シタイト云フノデアアルガ、憲政會内閣ハシミッタレデ緊縮論バカリデアアルカラ不景氣ニナル、鐵道建設ガ出來ナイカラ頼ムニ足ラスト云フノデアアナタ方ハ大口ヲ叩イテ遊説シタデヤナイカ、殊ニ志賀君ナンドハ不心得千萬ナノデアアル、上埜君ハ割合ニ少イガ、大臣ハ大臣顔ヲシテ餘リ言質ヲ與ヘナイケレドモ、要スルニ澤山種ガアル、吾々ハ毎年全國三四百ノ土地ヲ歩イテ居ガル、實ニ出鱈目千萬デアアル政府及政友會ノ宣傳ヲ聞ク、サウシテ其出鱈目モ宜イガ、鐵道敷設法ノ改正案ヲ始終出シテ協賛ヲ求メ、衆議院ヲ煩シ、貴族院ヲ煩シ、畏レ多クモ陛下ニマデ申上グル所ノ法案デヤアリマセヌカ、ソレヲ内閣ヲ取ッテ以來着々民間ニ許可ヲ爲スッテサウシテ、國有鐵道ノ根幹トモナルベキ線路スラモ、他日買収又ハ補助シテヤルカラオ前等兎ニ角ヤレト言ッテ、一時ヲ糊塗シテ、民間ノ資本家ヲ欺クトハ申シマセヌケレドモ他日國有ニシテヤルカラト言ッテヤッテ居ル事實ガアリマス、工藤鐵男ハ責任ヲ負ヒマス、左様ナコトヲ言ッテ政友會ノ人々ガアルト云フコトヲ私ハ申シマス、ソレ故ニ左様ナル事柄ガ起ルコトハ、國家ノ爲ニ宜シクナイカラ、國有鐵道主義ヲ何處迄モ徹底シ、而シテ國家ノ事情ト相俟タナケレバナラヌ

カラ、國有ヲ以テ全部ガ出來ナイトスレバ、茲ニ私有鐵道ハ是々ノ方針、是々ノ方策ニ嵌マルヤウニシテヤルト云フコトヲ御示ニナルト云フト、サウ云フ問題ガ起ラズニ濟ム、初ヨリ此鐵道ハ國有鐵道ニナルモノトシテ吾々ハ協賛ヲ與ヘテ居ッテ、所ガ一度内閣ガ變ルト云フト之ヲ裏切ッテ以テ、ドン——民間ニ許可スルト云フコトハ、政府ノ提出シタ此表ノ中ニ立派ニアリマス、ソレハアナタ方ノ良心ニ問フテ御覽ナサイ、吾々ニ協賛ヲ強ヒテ、サウシテ今日ニ至ッテ屢之ヲ許可スルト云フコトハ、試ニ讀ンデ御覽ナサイ、此内閣ガ出來テカラアルデヤアリマセヌカ、ソレヲ早クスレバ宜イデヤナイカ、地方民モ宜イデヤナイカ、ソレハ知ッテ居リマス、然レドモ國有鐵道ト私有鐵道トハ、キリ分ケテ國策トシテ國有主義ヲ立テタ所以ト云フモノハ、アナタ方御承知デアラウ、私有鐵道ノ運賃ト云フモノハ三十二割高イモノガアル、此間モ木材關稅ノ委員ノ一人ガ話シテ居リマシタガ、加奈陀ノ晚香坡カラ橫濱迄持ッテ來ル船賃ガ、奥羽地方カラ持ッテ來ル、鐵道運賃ヨリモ安く出來ルト云フ、ドウデス、是デ貴方產業助長ガ出來マスカ、亞米利加ノ木材ガ入ッテ來ル所以ノモノハ運賃ノ關係デアリマス、噸當リ八弗半デ晚香坡カラ橫濱迄來ル、ソレヲ奥羽カラ東北線ヲ通ッテ來テ、東京迄荷物ガ入ルノニ、七回積換ヲシ

ナケレバナラスト云フ、之ガ即チアナタ方ノ積極主義ノ破産デアリマス、何故カト云フト、國有鐵道ヲ早クシタイト云フノハ、貨銀ヲ統一シ、安クシ、良クシテ、サウシテ完成スルト云フ所ニ在ル、ソレヲ一哩二十萬圓デ出來ル鐵道ガ澤山アルノニ、五十萬圓モ七十萬圓モ出スヤウナ線路ヲドン——黨勢擴張ノ爲ニ造ッテ、サウシテ此大事ナル所ノ日本ノ東西ニ分レル所ノ幹線ノ改良スラモ出來ナイカラ、輸送力ニ於テ梗塞スル、地方鐵道モ國有鐵道ノ營養線ニナルノデアアルカラ、私ハ敢テ之ヲ拒ム譯デハナイケレドモ、殆ド其國有主義——西園寺内閣ガ苦心ヲシテ拵ヘタ國有鐵道主義ノ根柢ト云フモノニ、非常ナ脅威ヲ與ヘルト云フガ爲ニ之ヲ言フノデアリマス、デアリマスカラ先ヅ私此點ニ付テ議論ガアル、隨テ此鐵道ノ運賃ニ關スル問題モ何ノ爲ニ斯様ナ運賃ヲ高クシナケレバナラナイカト云フト、政友會ノ產業助長ノ下ニ鐵道ヲ敷設スルト申シナガラ、不急ノ鐵道ヲ濫リニ計畫シテ、之ガ爲ニ財源ガ枯渴シテ此改良ガ出來ナイト云フノモノツノ大ナル原因デアルト私ハ思フテ居ル、ソコデ質問ノ要點ヲ申上ゲマスガ、國有鐵道主義ヲ確立シタ後ニ、唯單ニ早く出來サヘスレバ宜イイト言ウテ、地方鐵道ヲ許ス、而モ吾々ニ向ッテ屢協賛ヲ求メテ協賛ヲ與ヘタ線ヲ濫ニ私設鐵道會社ニ許スト云フコトニ就

イテ、現政府ガ我々ノ協賛權ヲ蹂躪スルニ足ルダケノ有力ナル事實ガアルナラバ、ソレヲ明ニ御示ナサイ、即チ吾々が協賛ヲシタ所ノ線路、數十線ト云フモノガアナタ方ニ依テ國有ナラヌ私立ニ許可サレテ居ル、然ラバ何ガ爲ニ曩ニ吾々ニ協賛ヲ求メタノデアリマスカ、曩ニ國家ノ爲ニ國有トシテ必要ナリトシテ協賛ヲ求メタモノガ、僅カ一年二年ノ間ニ一千何百哩モ私設會社ニ許スト云フコトデアラナラバ、吾々ノ協賛權ヲ蹂躪シタモノデアリマセヌカ、協賛權ヲ濫用シ、之ヲ蹂躪シテ迄モ、尙且私有鐵道ニ許サルベカラザル重大ナル理由ガアッタナラバ、茲ニ御發表ナサイ

○小川國務大臣 度々是迄ノ御尋ニ申シタヤウニ思ヒマスガ、唯空ニ議論シテモ致方ガナイ、事實ニ於テ鐵道敷設法デ豫定シタ線路ヲ私設鐵道ニ許シタ分ハ先達モ既ニ申シタヤウナ譯デ、大湊ノ鐵道ト四日市ノ鐵道デアアル、其他ニハ豫定線路ニ當ッタノハサウ澤山ナイ、ソコデ(工藤委員)鐵道大臣ハ知ラヌノダ(ト呼フ)御聽キナサイ

○工藤委員 委員長鐵道大臣ハ知ラヌノデス

○若宮委員長 私語ヲ禁ジマス

○小川國務大臣 人ノ發言中デス、默ッテ御聽キナサイ、其豫定ノ時ニ詳シク申上ゲテ置イタ話デアリマス、其時ニ於テ詳シク申上ゲタヤウナ譯デアッテ、

政府ノ鐵道敷設法ニ依テ一旦建設ノ豫定ヲ定メマシテモ、ソレハ早く鐵道ヲ造リタイト云フ精神ヨリシテ、政府デ敷設スルヨリモ民間ニ於テ敷設スル方ガ却テ鐵道ガ早く出來上ッテ、一般ノ產業開發ノ爲ニ、國家ノ公益上カラ見テモ其方ガ宜イト認メレバ之ヲ許スト云フ譯デアリマス、宜シウゴザイマス、サウシテ鐵道敷設法ノ第三條ニハ斯ウ書イテアリマス、「豫定鐵道線路ニ該當スルモノト雖モ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノニ在リテハ政府ハ地方鐵道トシテ其ノ敷設ヲ免許スルコトヲ得」ト書イテアル、是ハ法律ノ規定ヲ俟タヌデモ明ナ話デアアル、今日之ヲ許シタカラト云ッテ何デ協賛權ヲ蹂躪スルカ、些トモ蹂躪サレテ居ナイ、政府ハ議會ノ協賛ヲ經テ、サウシテ法律ノ規定ニ從ッテ法律上之ヲ架ケルト云フ豫定ヲシマスケレドモ、是ハ偏ニ國家ノ產業開發ノ爲ニ之ヲ決メルノデアリマス、何モ一旦政府デ豫定シタカラト云ッテ民間デヤルト云フコトヲ何處迄モ苦情ヲ言ツテ許サヌト云フヤウナ、サウ云フ思想モ一時ハアッタノデアリマス、併シソレハ私ハ絶對ニ反對デアアル、官民ノ區別無シニ協力一致シテ、サウシテ此交通機關ヲ完成スルト云フ計畫ニ向ッテ進ム方針デアリマス、動モスレバ今日一旦政府ガ決メタナラバ、ソレハドウシテモ民間ニ許サナイト云フヤウナ說モ私共承ッタコトガアル、恐ラク工藤君

等モ御話シタコトハナイケレドモ、サウ云フ思想ニ反對ノ方デアラウ、如何ニモ官僚主義デ政府ガ一旦決メタ以上ハ、國家ノ必要ガアツテモ、地方人民ノ爲ニ利益ニナツテモ、鐵道ガ早く出來テ何デモ彼デモ豫定線路ヲ一遍決メタフ許サスト云フコトナラバ、是ハ官僚義ノ極端ナ弊害ダト考ヘマス、故ニ右様ナ事ハ民モ官モ共ニ協力一致シテ鐵道ヲ開クト云フヤウナ趣意デアリマスカラ、私ハ其事ヲ申上ゲタ、私ハサウ云フ事ニ付テ、鐵道ヲ付ケル、普及ヲサセル、改良發達ヲサセル、斯ウ云フ事ニ付テハ官民ノ區別ハ眼中ニ置カナイト云フコトヲ今申上ゲタ、官デヤルベキモノトナツテ居ッテモ、民デヤル方ガ早く出來ルト云フナラバ、私ハ決シテ民ト官トノ區別ヲ置カナイノデアリマス、今日迄サウ云フ思想ガアツタカモ知レマセヌガ、ソレハイケナイ、假令協賛ヲ經テモ、少シモ協賛權ノ蹂躪デモ何デモナイ、議會ノ協賛ノ目的ヲ十分ニ達スルコトニナルト思ヒマス、議會ノ協賛ヲ經タカラト云ツテ民間ニ許サスト云フコトハ、斷ジテ私ハ貴族院ニ於テモ衆議院ニ於テモサウ云フコトハ少シモ包含シテ居ラヌト思ヒマス、唯早ク鐵道ヲ造リタイト思フカラ鐵道敷設法ニ豫定線ヲ指定シタノデアリマシガ、政府ノ財政ニ限リガアルカラ、地方デヤルモノガアレバ、是ハ豫算ニ計上シタ分デサハ許スノデアリマス、況ヤ

豫算ニ計上セヌデ、唯敷設法ニ書イタダケノモノナラバ民間デ之ヲ架ケタイト云フ希望ガアリ、サウシテ是ガ出來ルナラバ、私共ハ寧ロ民間デ十分出來ルナラバ、政府ガ鐵道ヲ持ッテ居ラヌデ宜イト思ヒマス、今日ノ事情ガソレヲ許シマセヌカラ政府ガヤツテ居ル、元來鐵道ナント云フモノハ民間デヤルモノデセウガ、特殊ノ必要ガアツタカラ之ヲ政府ガヤルノデアリマス、其必要ニハ貴方モ反對シマスマイ、必要ガナケレバ民間ノ經營ヲ進メルト云フコトハ結構デ、御同様ニ協力一致シテ進メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、何モ少シモ協賛權ノ蹂躪デモ何デモナイ、協賛ノ目的タルヤ鐵道ヲ速ク架ケタイト云フ趣意デ、私共ハ協賛ヲ求メマス、政府モ亦何レノ内閣ニ於テモ、或ハ政友會タルト憲政會タルト問ハズ、此鐵道敷設法ニ載セルノハ是ハ一日モ早く架ケタイカラデアル、建設ニ着手シタイカラ之ヲ敷設法ニ載セルノデアアル、鐵道敷設法ヲ作ッタノモ其趣意デアリマス、然ル以上ハ財政上ノ都合ニ依リ、國家ノ全局カラ見テ、政府ガヤルヨリハ民間デヤル方ガ宜シイト云フコトガ決ツタナラバ、民間デヤルノデアアツテ、ソレヲヤルニ些トモ差支ナイ、此點ニ於テ是ハ何モ協賛權ノ蹂躪デハナイト考ヘマス

○若宮委員長 一寸御注意申上ゲマスガ、質疑ハ最モ簡潔ニ要點ノミヲ御述ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ工藤君ニノミ申上ゲルノデハナイ、全般ノ方ニ申上ゲテ置クノデアリマス

○工藤委員 私ハ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマスケレドモ、大臣ノ答辯ガ要領ヲ得ナイカラ、此趣旨ヲ明ニ致シタイ爲ニ茲ニ到ルト云フコトヲ御諒解ヲ願ヒマス、ソレカラ鐵道大臣ガ縷々仰セラレマシタケレドモ、貴方ノ協賛權云云ニ付テハ、貴方ガ私ノ趣旨ヲモウ一步遡ッテ考ヘテ御覽ナサイ、協賛ヲ求メル時ニハ、國有鐵道線路ハ斯ノ如キモノデアルト云フコトヲ求メテ居ルノデアル、宜ウゴザイマス、然ルニ一方ニ私有鐵道ニ其線路ヲ許シテ居ル、若シ協賛ヲ求メル時ニ政府ノ私有鐵道ニ關スル此根本ノ方針ガ決ツテ居レバ、協賛ヲ求メル時ニ、或ハ貴方ノ求メタ所ノ線路ハ其時ニ吾々ハ或ハ協賛ヲ與ヘナイカモ知レヌ、鐵道敷設法ヲ貴方ハ誤解シテ居リマスガ、鐵道敷設法ハ帝國鐵道ヲ完成スル爲ニ斯克ノ鐵道ヲ造ルノダト云フノデアリマスガ、唯例外規定シテ地方鐵道ヲ許スノデアリマス、日本ノ國有鐵道ノ主義ハ根本ガ決ツテ居リマス、早く出來ルカラ許スト云フヤウナ意味デハナイ、早カラウ惡カラウ、安カラウ惡カラウト云フヤウナコトハ、昔カラ決ツテ居ル言葉デア、ケレドモ幾ラ遅クトモ——或ハ餘リ遅クテモイカヌガ、遅レテモ資本ノ充實シタ仕事デアレバ、國家統制ノ下

ニ此使命ヲ完成スルコトガ出來ルト云フ爲ニ此國有鐵道ガ出來テ居ルノデアリマセヌカ、ソレカラ貴方ハ敷設法ト云フモノハマダ知ラナイヤウナ口吻デア、私ノ言フノハ鐵道敷設法ニ於テ先刻申上ゲマシタガ、田名部大間或ハ四日市ノ鐵道ト云フモノガ敷設法ニ掲ゲラレタルコトハ大正十一年ノ敷設法別表ニアリマス、ソレガ豫算ノ上ニ上ッタノヲ吾々ノ内閣ノ時ニ上ッタノヲソレヲ削ッテ其ノ二ツノ會社ヲ貴方ハ許シタト云フノデア、ソレハ敷設法ニ豫定シタ線路デア、實行期ニ入ル爲ニ豫算ヲ計上シタ線路ハ唯二ツニ過ギナイケレドモ、豫定線ヲ既ニ斯ノ如ク免許致シテ居リマス數ハ、國有鐵道主義ト反スルカラ、協賛ヲ求ムルニ當ッテハ、一定ノ方針ガアツテ、國有私有ノ方針ガアツテ、貴方ノ御話ノヤウニスルト、國有鐵道デナクテモ何デモ鐵道ヲ架レバ宜イデハナイカト云フコトハ、英吉利ヤ亞米利加ノヤウナ國ニ於テハソレデ宜シイガ、日本帝國ノ國策ハ確立シテ居リマス、今ニナツテ鐵道大臣ガサウ云フヤウナ我が國策ニ付テ今尙迷兒トナツテ居ルヤウナコトデア、ルナラバ——速ニ此鐵道國有法ト云フモノヲ撤廢シ鐵道敷設法ト云フモノヲ廢スルダケノ御考ガ貴方ニアレバ格別デア、併シ竝行若クハ之ヲ補助機關トシテ雁行シテ行クト云フコトニ付テ私共ハ彼此レ言フノデハナイ、ケレドモ茲ニ一

定ノ方針ガナケレバ、吾々ガ協賛ヲ與ヘテモ動トモスルト其時ノ内閣ガ迭ルト此協賛權ハ蹂躪セラレテシマウ國有鐵道ハ必要デアルカラシテ吾々ハ協賛ヲ與ヘテ居ルノデアル、初カラ方針ガ確立シテ居レバ國有鐵道デアルカラ、是ハ帝國鐵道ノ主義方針ニ符マルモノデアルカラサウ云フヤウニシタラ宜カラウト言フ、斯様ナ席上ニ於テ協賛ヲ與ヘル場合ニハ吾々ガ政府ニ向ッテ質問ヲスル、政府ハ無條件デ吾々ニ協賛ヲ要求シテ居ル、吾々ハ政府ノ説明ヲ信ジテ裏書スル、然ルニ昨年拵ヘタ豫算ヲ今年ハ削ルト云フヤウナ無方針無定見ノ所ガアル、假令現内閣ノ此鐵道方針ハ無方針デモ、鐵道大臣ガ無定見デモ構ハナイ國策ハ恒久ノモノデアリマス、ソレヲ時ノ内閣ガ迭ル毎ニ變ラレテハ困ルカラ、此點ヲ嚙ンデ含ンデ分ルヤウニ話ラシテモ一向分ラナイデハアリマセヌカ、若シ鐵道ガ出來サヘスレバ宜イ、早く出來サヘスレバ宜イ、何デモ宜イデハナイカト云フコトデ貴方ガ國有鐵道政策ヲ拋棄シテ、所謂單純ナル鐵道主義ニ依テ官民共ニ差別ナク之ヲヤルト云フダケノ御考ニナレバ別デアル、ケレドモモウ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ國家ガ大ナル負擔ヲシテ國有鐵道ヲ確立シタ以上ハ、此國策ヲバ吾々ハ何處迄モ恪守シテ行クト云フコトガ帝國ノ爲ナリト考ヘテ居ルノニ、大臣ハドウデモ宜イ、私有ナリ國有ナリ何方

デモ宜イナント云フコトハ、實ニ鐵道大臣トシテハ我が國策ニ對シテ——大切ナル帝國ノ鐵道政策ニ對シテマダ明確ナル意識ガナイ觀念ガナイト云フコトデアッテ、此點ニ於テ貴方ハ既ニ鐵道大臣トシテノ徹底シタ意見ガナイト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ只今鐵道大臣ノ仰セラレマシタコトハ、私ノ質問ノ的外レテ居リマスカラ、貴方ガ此質問ニ對シテ更ニ答辯ガ出來ルナラバ伺ヒマスガ、出來ナケレバモウ既ニ時間デアルカラ午後ニマタ質問致シマス

○小川國務大臣 モウ答辯致シマセヌ
○若宮委員長 ドウシマスカ、私委員長ニ於テハ繼續シタイト思フテ居リマス、御承知ノ如クニ會期モ切迫シテ居ル際デアリマスガ故ニ、御勉強ヲ願ッテ今日モ明日モ續行致シタイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、只今モウ既ニ二十時三十五分ヲ過ギマシタガ故ニ、是デ休憩ヲ致シマシテ、午後二時カラ再開致シマス

午後零時三十七分休憩

午後二時三十九分開議

○若宮委員長 是ヨリ開會致シマス
○田中委員 三十一條ニ「最近ノ營業年度末迄ニ運輸開始後三年ヲ經過シ」云々トアリマスガ、是ハ第一號ニモ第二號ニモアリマスガ、此建設費ハ會社ノ考課狀ニ書イテアル建設費ト云フモ

ノヲ最高限度トシテ、其以内ニ於テ會社ノ人ト妥協シテ決メルト云フノデスカ、或ハサウデナクテ、建設費ト云フモノハ動カナイデ、ソレヲ標準ニシテシマッテ、アトハ公債ヲ交付スルト云フコトダケノ妥協ナノデスカ、詰リ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、假ニ大正七八年ニ造ッタ鐵道ハ、其當時物價ガ騰貴シテ居ルノデ百萬元シタ、所ガ今日其鐵道ヲ造ルナラバ五十萬元出來ル、サウシテ會社ノ考課狀ニハ今日デモ尙百萬元ト云フコトニナッテ居ッテ、鐵道省デモソレニハ異存ガナイト云フコトニナッテ居ル、其鐵道ヲ買收スル場合ニハ、百萬元ト云フモノハ、是ハ建設費デアルカラ、動カナイノデアルト云フノデアルカ、或ハ其鐵道ヲ買收スル場合ニ妥協シテ、百萬元以下ニ、例ヘバ七十五萬元位デ其鐵道ヲ買フコトニ差支ガナイカドウカ、ソレヲ御尋シタイト思ヒマス

額面デ渡シマスレバ、ソレヲ若シ金ニ換ヘレバ時價九十三圓ト云フモノトスルト、九十三萬圓ノ金シカ這入ラヌ、ソレハ非常ニ氣ノ毒ダ、詰リ強制買收デアリマスカラ、買收スル場合ニハ、少クトモ企業者ノ出シタツケノ金ハ、手許ニ這入ルヤウニシテヤリタイト云フノガ今度ノ時價換算ノ趣旨デアリマシテ、詰リ百萬元ト云フ建設費、ソレヲ公債ノ時價ニ依テ額面ニ換算スル、サウ致シマス、九十三圓トスルト百七八萬圓ニナリマス、公債額面百七八萬圓ノモノヲ渡スト云フコトニナル、ソレガ最高限度デアッテ、若シ會社ガモツト安クテモ宜シウゴザイマス、ト云フ協定ガ出來レバ、或ハ百萬元ノ公債額面デ渡シテモ宜シ七十五萬圓ノ公債額面デ渡シテモ宜イ、サウ云フ譯デス

○細野鐵道書記官 大正八年ニ建設費百萬元造ッタ鐵道ガ、今日時價ガ假ニ五十萬圓ト致シマス、併シソレハ考課狀面デハ、矢張百萬元ト建設費ニ計上サレテ居ル譯デアリマス、其百萬元トアル鐵道ヲドウシテ買收スルカト云フ今度ハ價額ノ問題デアリマス、百萬元ト云フモノヲ、今迄ノ法律デハ百萬元ト云フ公債ノ額面金額デ渡シテ居ッタ、建設費ハ何時デモ買收價額ノ標準ニナル譯デアリマス、百萬元ト云フ公債額面デ渡シテ居ッタ所ガ、百萬元ト云フ公債

○細野鐵道書記官 サウデス
○工藤委員 地方鐵道ノ買收ヲ二十倍トスルノハ、私ノ承知スル所デハ、鐵道國有ノ際ニハ大體ニ於テ已ムヲ得ナカツタト思ヒマス、煙草專賣ノ時ニモ矢張斯ウ云フヤウナ標準デヤッタヤウニ思ヒマスガ、國有法實施ノ際ハ國策ヲ確立スル上ニ於テ最モ大切ナ時ダカラ、國庫モ相當ノ犠牲ヲ拂ッタノダラウト思ハレマス、今日ニ於テハ國有鐵道

ガ主デ、地方鐵道ハ從タルモノニナツテ居リマシテ、二十倍ノ計算デ行クコトハ實際ニ於テ適當デハナイ、モット少クテモ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ現行法ヲ此儘ニシテ置クト云フニ付テ相當ノ理由ガアルノデアリマスカ、所有權ヤ營業權ヲ買收スルト云フヤウナ學理上、實際上カラシテ之ヲ二十倍トシタ根據ヲ教ヘテ戴キタイ

○細野鐵道書記官 二十倍トシタノハ地方鐵道法第三十五條ニ五分利附ノ公債證書ヲ以テ額面デ交付スルト云フコトガアルノデ、買收價格ヲドウシテ出スカト云フト、過去三箇年間ノ益金ガ、建設費ニ對シテドレダケノ割合ニナツテ居ルカ、例ヘバ建設費ガ百萬圓デアリ、過去三箇年間ノ益金ノ割合ガ百萬圓ニ對シテ一割ト云フ場合ニハ、一箇年十萬圓上ル譯デアアル、百萬圓ノ鐵道ガ毎年十萬圓ノ益金ヲ上ゲテ居ルノデ、買收スル場合ニハ、鐵道ハ此方ニ取ツタガ、公債ヲヤツテ、今迄ト同ジヤウニ公債カラ十萬圓ノ利子ヲ得ルヤウナ結果ニシヤウト云フノガ買收價格決定ノ根本デアリマス、十萬圓ノ益金ヲ出ス爲ニハ、五分利附ノ公債ドレダケノ額面トシナケレバナラヌカト言ヘバ、二十倍シテ二百萬圓ト云フコトニナルノデアリマス

○工藤委員 鐵道ヲ買收シテ貫フト云フコトハ、私設鐵道會社ノ終局ノ目的ノヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、之ガ一割ナリ一割二分ナリノ配當ガアル間ハ宜イガ、國有線ガ完成シテ來テ、將來一割ノ配當ガ減ル時期モアル、地方鐵道ノ企業家ト云フ者ハ固ヨリ儲ケル積リデアルノデアリマセウガ、實際ヤツテ見ルト儲カラヌ、殊ニ大正九年以來ノ金融界ノ梗塞ノ結果ハ、私設鐵道ニ投資シタ者ハ皆困ツテ居ル、隨テ二十五圓拂込ンダモノハ十五圓ニナルトカ、殆ド半額以下ニ大抵ノ所ハ減ツタノデス、但シ八分以上補助金ガアツテ相當ノモノニナルトカ、或ハ一割以上ノモノハ拂込價格ガ維持シテ居タモノガアリマシタケレドモ、概シテ下ツタ、然ルニ政府ガ今度之ヲ買上ゲルニ付テ、其標準ハ大體ニ於テハ建設費ヲ本ニシテ來テ居ルノデアアルカラシテ、建設費カラ見タ此買收價格ト云フモノガ、私ハ實際ニ於テハ非常ニ適當デナイト云フヤウナ實際感ジガ起ル、ソレデアアルカラ只今御伺シタノモ、此二十倍トシタ理由ハ、固ヨリサウ云フ工合ニ論理的ニ計算シテ行クトサウナリマセウケレドモ、少シ是ハ時代離レヲシテ居リヤシナイカ、固ヨリ之ヲ實際ニ適切スルヤウナ工合ニシナケレバ、今ニ帝國ノ鐵道ハ私有線買收ノ爲ニスツカリ疲勞ヲ來ス時代ガ來ヤシナイカト云フ心配ヲシテ居ル、此點ハドウ云フモノデセ

○志賀政府委員 政府ノ見方トシマシテハ此買收價格ニ付テ今變更ヲ致ス考ハ持ツテ居リマセヌ、ト申シマスノハ只今細野總務課長ヨリ申上ゲタル通り、五分ノ公債ヲ發行シテ五分ノ資本ニ對スル五分ノ利益ト云フモノガ、大體今日ノ經濟界ノ程度ニ於テ必シモ不當デナイ、寧ロ是以上ニ増スト云フコトハ、無論國家財政ノ上ニ禍ヲスルノデアリマス、是レ以下ニ減ラスト云フコトニ於キマシテモ、亦買收後ノ結果ヲ想定致シマスレバ、必シモ適當デナイ、矢張五分見當ガ今日ノ民度經濟事情ニ於テ相當デアアル、斯ウ見マスルト云フト、此買收致シマシタル鐵道ハ大體ドノ邊ニ於テ收益ヲ得ラレルカト云フコトヲ、先般ノ委員會ノ席上ニ於テモ申上ゲタ通り、考ヘテ計算シテ見マスルト云フト、國有鐵道ニナリマスルト云フト、ドウシテモ差當ツテ五分ト云フコトニナルノデアリマス、即チ從來高イ運賃ヲ取ツテ居リマシタル鐵道會社ガ、買收セラレマシタ結果鐵道省ト同一ノ運賃ニ相成リマシテ、非常ニ安クナツタ、其爲ニ非常ニ貨物ガ出ル、旅客ガ多クナルト云フ結果、收入ガ却テ増シテ參ッテ居ルノデアリマス、其狀況ニ照シ合セテ見マスルト云フト、ドウシテモ五分以上ニ相成ル、隨テ假令鐵道ヲ買收致シマシタ所ガ、政府ノ支拂ヒマスル五分ノ公債ノ利息ト云フモノハ、決シ

テ此買收鐵道ヨリ生ズル所ノ利益ニ依テ支辯シ得テ餘リアルコトヲ確信スルノデアリマスカラ、此五分ノ公債若クハ又ソレニ基イタル價格ノ算定ハ、今日ノ事情ニ於テ相當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○工藤委員 先程鐵道大臣ノ御話デハ、國有デモ私有デモ鐵道ガ普及サヘスレバ宜イト云フ考カラ私有鐵道モ許ス、隨テ豫定線ナドモ私有鐵道會社ノ免許線ニナツテ居ルノモ相當アルノダ、私ハ其論モ無論正ニ一ツノ理窟ガアラウト思フ、國家ノ財政ノ窮迫シテ居ル時分ニ、國ノ資本バカリ當ニセズシテ、地方ノ資本ヲ集メテヤルト云フコトハ、此點ハ私ハ敢テ否定スル譯デハナイケレドモ、是ハ何方ニモ徹底シナイ結果ニナツテ居リハシナイカ、若シ國有デモ私有デモ日本ノ鐵道ガ完成スレバ宜イト云フナラバ、私有鐵道ヲ獎勵シ、完成シ、而シテ國有ノ理想ニ近イヤウナ監督指導ノ方法ハナイノデアアルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、私有鐵道モ素ヨリ日本帝國ノ鐵道ノ完成ニ重キヲ有スルモノデアアルカラシテ、之ニ對シテ只今ハ唯益金ノ中カラデセウト思ヒマスガ、補助金ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、或ハ更ニ之ヲ將來國有ニシナケレバナラヌ見込ノアル線ニ、建設費或ハ又特殊ナ金融機關デモ拵ヘルトカ何ト云フヤウナコトヲ以テ、鐵道大臣ノ考ノ如クニスルナラバ、此私有鐵道ヲ

ウカ

○志賀政府委員 政府ノ見方トシマシテハ此買收價格ニ付テ今變更ヲ致ス考ハ持ツテ居リマセヌ、ト申シマスノハ只今細野總務課長ヨリ申上ゲタル通り、五分ノ公債ヲ發行シテ五分ノ資本ニ對スル五分ノ利益ト云フモノガ、大體今日ノ經濟界ノ程度ニ於テ必シモ不當デナイ、寧ロ是以上ニ増スト云フコトハ、無論國家財政ノ上ニ禍ヲスルノデアリマス、是レ以下ニ減ラスト云フコトニ於キマシテモ、亦買收後ノ結果ヲ想定致シマスレバ、必シモ適當デナイ、矢張五分見當ガ今日ノ民度經濟事情ニ於テ相當デアアル、斯ウ見マスルト云フト、此買收致シマシタル鐵道ハ大體ドノ邊ニ於テ收益ヲ得ラレルカト云フコトヲ、先般ノ委員會ノ席上ニ於テモ申上ゲタ通り、考ヘテ計算シテ見マスルト云フト、國有鐵道ニナリマスルト云フト、ドウシテモ差當ツテ五分ト云フコトニナルノデアリマス、即チ從來高イ運賃ヲ取ツテ居リマシタル鐵道會社ガ、買收セラレマシタ結果鐵道省ト同一ノ運賃ニ相成リマシテ、非常ニ安クナツタ、其爲ニ非常ニ貨物ガ出ル、旅客ガ多クナルト云フ結果、收入ガ却テ増シテ參ッテ居ルノデアリマス、其狀況ニ照シ合セテ見マスルト云フト、ドウシテモ五分以上ニ相成ル、隨テ假令鐵道ヲ買收致シマシタ所ガ、政府ノ支拂ヒマスル五分ノ公債ノ利息ト云フモノハ、決シ

今少シク進シテ之ヲ保護スルヤウナ
途、或ハ監督上ニ於テモ亦物質上ニ於
テモ、之ヲ補助スル——助成スルヤウ
ナ途ヲ御考ニナッテ居リマスダラウカ、
ドウ云フ將來ノ御方針デアリマスカ、
私有鐵道ノ建設ニ關シテ……

別箇ノ方針ヲ立テルト云フコトハ、現
在ノ所デハ何モ持ッテ居リマセヌ
○工藤委員 御方針ガ無イトスレバド
ウモ無イモノハ仕方ガナイトシテ、私ノ
目標ハ其處ナンダ、アナタ方ノ政府ノ意
見ハ私有鐵道モ國有鐵道ノ補助機關ト
シテ、サウシテ獎勵シテ行クトスレバ、
今迄ノ補助金位デハ實際二階カラ目藥
ダ、寧ロ特殊銀行ヲ拵ヘ低利資金ヲ利
用シテ建設費迄融通スルカ、建設費ニ
幾ラカノ補助ヲ與ヘテ完成スルカ、而
シテ地方鐵道買収ノ規定ヲバヨリ一層
嚴格ニシテ、サウシテ餘リ國庫ガ買収
ノ際一時ニ多クノ交付公債ヲ出サヌヤ
ウナコトデ行クトガ一ノ途デナイカ
ト思フケレドモ、吾々カラ見マスルト
國有鐵道ノ方針或ハ其事業ヲ脅威スル
迄ニ、殆ド私有鐵道ヲ獎勵シテ居リナ
ガラ、唯單純ナ補助金位デハ其目的ヲ
達スルコトガ出來ヌト考ヘテ居ル、ソ
レデアルカラ眞ニ私有鐵道ヲ其位重キ
ヲ置イテ見ルナラバ、建設費ノ補助或
ハ改良費ニ對スル補助、而シテ又一面
ニ於テハ嚴重ナル規定ヲ地方鐵道法或
ハ軌道法ノ買収規定ノ中ニ設ケテ置ク
コトガ徹底シタ方法デハナイカト考ヘ
マスケレドモ、今ノヤウニ何モ考ヘナ
イト云フ、本當ノ場當リデ、小川鐵道大
臣ハ常ニサウ云フヤウナ大風呂敷ヲ擴
ゲラレテ居ルト云フコトハ、本當ニ情
ナイト思ッテ居ル、ダカラモウ少シ徹底
シタモノガナケレバナラヌ、先程ノ小

川鐵道大臣ノ議論ハ唯場當リニ過ギナ
イ、鐵道大臣ト云フコトデアルカラモ
ウ少シ徹底シタ鐵道政策ガアルダラウ
ト云フコトデ伺ッテ居ルノデアリマス、
若シ參與官ガ大臣ニ代ッテ之ニ明快ナ
ル答辯ガ出來マスレバ……

出來テ居リマセヌ
○工藤委員 先ツサウスルト調査々々
デ二年以上暮シタト云フコトノ結論
デ、何等鐵道國策ニ付テハ、ドウモ大臣
ガ主張スルヤウナ目標ヲ捉ヘル爲ニ何
モシテナイト云フコトニナルノデアリ
マス、ソコデ運賃ノ問題デスガ私等ノ
見ル所カラ推定スルト云フト、運賃問
題ト云フモノガ國有鐵道モ私有鐵道モ
其生命ヲ制セラレテ居ルト思ハレルノ
デアリマス、ソコデ私ノ伺フノハ此私
有鐵道ノ運賃ノ問題デスガ元來國有鐵
道ノ運賃ノコトハ外ノ係リノ方ニ伺ヒ
マスガ、地方鐵道ノ運賃ヲ定メル標準
ト云フモノガ何カアルダラウト思ヒマ
ス、例ヘバ營業上ノ實費カラ來ルカ、或
ハ又是ガ爲ニ手數ヲスルカラシテ、手
數料的ニ取ッテ行クトカ、何トカ云フヤ
ウナコトガアルダラウト思フガ、全國
ヲ通ジテ此貨銀ト云フモノガ非常ニ錯
雜混亂ヲシテ居ルヤウデアル、是モ或
ハ理由ガアラウト思フ、土地ノ事情、會
社ノ運用如何ニ依テ——大體ニ於テ地
方鐵道ノ運賃ヲ決メル標準ト、竝國有
鐵道ニ比較シテノ運賃關係ト云フモノ
ヲ御分リノ點ダケデモ一ツ説明シテ戴
キタイノデアリマス

○細野鐵道書記官 地方鐵道ノ運賃ヲ
定メルノハ無論鐵道業者ガ決メルノデ
アリマスガ、其運賃ヲ決メル場合ニハ、
鐵道省ノ認可ヲ受ケテ決メル、又變更
スル場合ニモ、無論鐵道省ノ認可ヲ受

○志賀政府委員 先程大臣ガ御話申シ
マシタコトニ付テノ御意見モアリマシ
タガ、御意見ハ別ト致シマシテ、今日豫
定線デアラウトモ、地方鐵道ニ之ヲ許
可致シマスル色々ノ條件ハ、過般來屢
申上ゲマシタ通り、其地方ノ狀況ニ鑑
ミテ之ヲ免許シテ居ルノデアリマス、
左様ノ次第デアリマシテ、今日ハ監督
竝其他ノ事ニ付テハ、相當注意ヲ致
シテ居ル積リデアリマスガ、唯現在買
收致シマス線路、若クハ又營業致シテ
居リマス線路等ニ於キマシテ、鐵道
省ノ國有鐵道ノ規格ニ副ハザル鐵道ガ
アルノデアリマス、ソレハ大體嘗テ御
承知ノ輕便鐵道法ト云フモノガアリマ
シタ時代ニ於テ、出來タモノガ多イ、隨
テ多クハ今日ノ國有鐵道ノ規格ニ合ハ
ナイヤウナモノガ出テ參ッタノデアリ
マス、現在ノ狀態ニ於テハ、成ルベク此
規格ヲ統一スル方針ヲ執リマシテ特別
ナ場所、即チ或ハ特殊鐵道トモ見做ス
ベキヤウナモノ、外ハ、此地方鐵道法
ノ規定ニ依リマシテ、成ベク國有鐵道
ノ規格ト同一ナル設備竝諸般ノ實行
ヲスルヤウナコトニ監督ヲ致シテ參ッ
テ居ルノデアリマス、今日以上ニ更ニ

別箇ノ方針ヲ立テルト云フコトハ、現
在ノ所デハ何モ持ッテ居リマセヌ
○工藤委員 御方針ガ無イトスレバド
ウモ無イモノハ仕方ガナイトシテ、私ノ
目標ハ其處ナンダ、アナタ方ノ政府ノ意
見ハ私有鐵道モ國有鐵道ノ補助機關ト
シテ、サウシテ獎勵シテ行クトスレバ、
今迄ノ補助金位デハ實際二階カラ目藥
ダ、寧ロ特殊銀行ヲ拵ヘ低利資金ヲ利
用シテ建設費迄融通スルカ、建設費ニ
幾ラカノ補助ヲ與ヘテ完成スルカ、而
シテ地方鐵道買収ノ規定ヲバヨリ一層
嚴格ニシテ、サウシテ餘リ國庫ガ買収
ノ際一時ニ多クノ交付公債ヲ出サヌヤ
ウナコトデ行クトガ一ノ途デナイカ
ト思フケレドモ、吾々カラ見マスルト
國有鐵道ノ方針或ハ其事業ヲ脅威スル
迄ニ、殆ド私有鐵道ヲ獎勵シテ居リナ
ガラ、唯單純ナ補助金位デハ其目的ヲ
達スルコトガ出來ヌト考ヘテ居ル、ソ
レデアルカラ眞ニ私有鐵道ヲ其位重キ
ヲ置イテ見ルナラバ、建設費ノ補助或
ハ改良費ニ對スル補助、而シテ又一面
ニ於テハ嚴重ナル規定ヲ地方鐵道法或
ハ軌道法ノ買収規定ノ中ニ設ケテ置ク
コトガ徹底シタ方法デハナイカト考ヘ
マスケレドモ、今ノヤウニ何モ考ヘナ
イト云フ、本當ノ場當リデ、小川鐵道大
臣ハ常ニサウ云フヤウナ大風呂敷ヲ擴
ゲラレテ居ルト云フコトハ、本當ニ情
ナイト思ッテ居ル、ダカラモウ少シ徹底
シタモノガナケレバナラヌ、先程ノ小

川鐵道大臣ノ議論ハ唯場當リニ過ギナ
イ、鐵道大臣ト云フコトデアルカラモ
ウ少シ徹底シタ鐵道政策ガアルダラウ
ト云フコトデ伺ッテ居ルノデアリマス、
若シ參與官ガ大臣ニ代ッテ之ニ明快ナ
ル答辯ガ出來マスレバ……

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○工藤委員 具體的ノ案ガナイト云フ
コトデスカマダ……

○志賀政府委員 只今申上ゲマシタ通
リ、具體的ノ案ハ今御答シテ、是々ノ事
ヲヤルト云フコトヲ申上ゲル案ハマダ

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○工藤委員 具體的ノ案ガナイト云フ
コトデスカマダ……

○志賀政府委員 只今申上ゲマシタ通
リ、具體的ノ案ハ今御答シテ、是々ノ事
ヲヤルト云フコトヲ申上ゲル案ハマダ

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○工藤委員 具體的ノ案ガナイト云フ
コトデスカマダ……

○志賀政府委員 只今申上ゲマシタ通
リ、具體的ノ案ハ今御答シテ、是々ノ事
ヲヤルト云フコトヲ申上ゲル案ハマダ

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 鐵道當局トシテノ御
答ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、
併ナガラ只今工藤君ガ御述ニナッタヤ
ウナ、或ハ建設費ノ補助トカ、或ハ又交
通銀行ヲ造ッテ、サウシテ建設竝保安
設備等ニ對スル所ノ特殊ノ金融ヲ付ケ
ルト云フヤウナコトハ、實ハ屢議ニ
モ上ッテ居ル、吾々モ之ヲ考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯今日左様ナ案ヲ立
テ之ヲ實行スル積リデアリマスと云フ
コトヲ申上ゲル時機ニ到達シテ居ラヌ
コトヲ遺憾トスルノデアリマス、相當
之ニ對シテハ鐵道當局トシテハ深ク注
意ヲ拂ヒ、且ツ外國ノ實例等モ參照致
シマシテ、調査研究ヲ致シテ居ル次第
デアリマス、決シテ時勢ニ後レテ、此國
有鐵道ガ私有鐵道ヨリ脅威ヲ受ケルト
云フヤウナコトノナイヤウナ工合ニ、
進步發達ヲ促スダケノ遣方ハヤッテ行
ク積リデ考ヘテ居ルノデアリマスルカ
ラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

ケテ變更スルト云フコトニナツテ居リマス、ドウ云フ標準デ鐵道省ガ地方鐵道ノ運賃ヲ認可スルカト云フコトヲ大體申上ゲマスレバ、無論此地方鐵道ハ是ハ營利會社デアリマスルカラ、其鐵道ノ營利ト云フ觀念ヲ離レテハ矢張運賃ヲ決メルコトガ出來ナイダラウト思ヒマス、只今工藤委員仰セノ通り——併シ又一方カラ見マスルト公共ノ機關デアリマス云フコト、殊ニ是ガ獨占的ノ公共機關デアルト云フ點カラ、是ハ唯營利本位ノミデハ決メル譯ニモ行カヌ、結局營利ト云フコト、ソレカラ公共性ヲ帶ビテ居ル獨占的ノ機關デアルト云フ、此二ツノ方針カラ見マシテ、個ノ場合ニ付テ各鐵道ニ付テ決メルト云フコトニスルヨリ外ニ方法ハナイダラウト思ヒマス、其決メル場合ニハ或ハ同ジャウナ鐵道ノ標準モ取リマス、殊ニ同地方ニ於ケル同ジャウナ鐵道ノ運賃ハドウナツテ居ルカト云フヤウナコトデ決メルト云フコトモ一ツデアリマヌ、色々ノ事情ヲ參酌シテ個々ノ鐵道ニ付テ營利ト云フ目的ヲ失ハナイ、又一方公共機關トシテノ性質ヲ失ハナイト云フ程度ニ於テ決メルヨリ外仕樣ガナイト思ヒマス、是ハ國有鐵道デアリマスレバ、全國一律ニ決メルコトガ出來マスルガ地方鐵道ハ地方ノ交通ヲ目的トスル機關デアリ、殊ニ各地方ニ分布致シテ居ルノデアリマスルカラ、個々別々ノ場合ニ依テ決メルヨリ外仕樣ガ

ナイト思ヒマス、現ニ例ヘバ綱索鐵道ノ如キハ非常ニ短カイ、今運賃ヲ定メルノハ、哩ヲ單位トスル、區間ヲ單位トスルト云フコトデ定メテ居リマスガ、綱索鐵道ノ如キハ非常ニ短カイ、一哩足ラズノ鐵道デアル、之ヲ普通鐵道ノヤウニ一哩四錢トカ五錢トカ云フヤウナ標準デ定メタナラバ、綱索鐵道デハ立ッテ行カナイ、建設費ガ非常ニ高イカラ、或ル地方ノ如キハ一寸山ニ登ルノニ二十錢位取ルトカ二十五錢位取ルト云フヤウニナツテ居ル、結局今申上ゲタ二ツノ眼目ヲ頭ニ置イテ、適宜適所ニ時ニ從テ定メルト云フ以外ニハ、地方鐵道ノ運賃ヲ決メル合理的ノ標準ハナイダラウト思ッテ居リマス

○工藤委員 ドウモ心細イ話デス、運賃ヲ定メルニ付テ大體國ニ於テ標準ガナイト云フコトハ——大體標準ガアツテ、但シ特別ノ事情アリ、特別ノ土地、地域ニ於テハ斯ウスルト云フコトガナケレバ、折角鐵道大臣ノ所謂私有鐵道ヲ獎勵シテモ意味ヲ爲サナクナリハシナイカト思ヒマス、然ルニ私共審議シテ居ル法案トノ關係ヲ見レバ、運賃ハ收入ノ大部分、恐ラクハ全部トシテモ宜イノデアリマスガ、此運賃ノ收入如何ニ依テハ會社ノ經濟狀態ニ非常ニ變化ヲ來ス、此經濟狀態ニ變化ヲ來スト云フノハ、即チ買收ノ時ニ於テノ基礎トナル益金ニナル、ソコデ私有鐵道ヲ監督スル場合ニ於テモ、國家ガ私有鐵

道ヲ將來斯ウ云フ條件ノモノハ買收スルト云フコトデアレバ、之ニ對スル運賃ノコトモ相當ナ一ツノ標準ニ依テ、——アナタ方ガ尺度ヲ拵ヘテ掛ラナケレバ其處ニ情弊ガ起ル、唯目八分ト云フコトハ、成程特殊ナ綱索鐵道トカ或ハ其他ノ極ク特殊ナモノハ別デアリマスケレドモ、所謂地方鐵道トシテ產業交通ノ上ニ——私共主トシテ產業上カラ考ヘラレテ此鐵道ニ關スル運賃ハ左様ナ位ノ——是ハ傳統的ニ今ノ政府モサウシテ居ルノカモ知レマセヌガ、日本帝國ノ鐵道ノ主管タル鐵道省ニ於テ無方針デハナカラウト思フ、少クトモ貴方位ノ地位ニナツタラ考ヘテ置カネバナラヌ、デアルカラ例外ハ別デアル、特殊ノモノハ別デアルケレドモ、國有鐵道ト云フモノハ運賃ニ付テ一ツノ標準ヲ定メテ置ク、ソレハ何カト云ヘバ、例ヘバ五分ノ利益ナラ利益、五分ノ益金ナラ益金ト云フモノカラ定メテ行ク、國有鐵道ニ付テモ何カ標準ガナケレバナラヌ、是ハ國家ノ公益ニ非常ニ關係ガアル、獨リ運賃ニ依テ地方ノ產業交通ニ影響ヲ及ボスバカリデナク、今ノヤウナ買收規定ニ依テ買收スル時ニモ多大ノ影響ガアルカラ、貴方ノヤウナ、政務官カラ始終頭コナシニサレバヤウナ地位ニ在ル人ハ何カ方針ヲ立テ、置カナケレバ様々ナ弊害ガ起ラダラウト思フ、ソレデ政務官ノ志賀君ナドハ運賃ニ關スル重大ナ問題ニ付テ

ハ何カ抱負ガアリサウナモノデスガ、ドウデスカ

○細野鐵道書記官 只今申上ゲタ通り鐵道會社ノ運賃ハ五錢デナケレバイヤカヌ、或ハ六錢デナケレバイヤカヌト云フコトハ誰ガヤツテモ出來ナイコト、思ヒマスガ、今大體地方鐵道ノ運賃平均ハドノ位ニナツテ居ルカト申シマス、二呎六吋ノ鐵道デ一哩平均ガ五錢五厘、ソレカラ三呎六吋ノ鐵道デ一哩平均ガ四錢五厘デス

○工藤委員 ソレハ旅客ノ事デスカ

○細野鐵道書記官 サウデス、サウ云フコトニナツテ居リマスガ、吾々ガ運賃ヲ定メル場合ニハ、勿論サウ云フ平均運賃ト云フヤウナモノモ頭ノ中ニ入レテ、サウシテ會社ノ申出タ賃率ヲ認可スルコトニ致シテ居ルコトハ勿論デアリマス、併シ只今申上ゲタ通り、會社ハ五錢デナケレバイヤカヌ、六錢デナケレバイヤカヌト云フコトハ、是ハドナタガ鐵道大臣ニナラレテモ地方ノ事情ニ依テ違フカラ到底是ハ不可能デアラウト思フ、御客ガ尠ナクテ利益ガナイ所ハドウシテモ矢張多少高クシテ營利會社トシテノ本分ヲ達シテ行カナケレバナラヌ

○工藤委員 或ハサウカモ知レマセヌ、併シ繰返シテ申サウデアリマスケレドモ、何カ標準ガナケレバ將來買收ヲセラレル上ニ於テモ、地方產業ノ上ニ於テモ非常ニ影響ガアル、是ハ或

ル特殊ナモノヲ除イテノ私共ノ質問デアリマスガ、何モナケレバ仕方ガナイガ、地方鐵道ト云フモノハ可ナリ運賃ガ高イ、先刻モ申シタ通り、私ハ運賃引下論者デア、外國邊リノ鐵道ノ運賃ナドニ較ベルト、日本ハ實際國有鐵道デモ私有鐵道デモ逆モ暴利ヲ取ッテ居ル、ソレハ國ニ依テハ多少例外モアリマスケレドモ、概シテ運賃ガ廉イ、サウシテ大正十三年ノ鐵道省カラ出シタ鐵道年報カ何カニ出シタモノカラ私ハ書拔イテ居リマスガ、大正十三年ノ調デ國有鐵道ノ旅客一哩平均運賃ハ二錢三厘、ソレカラ地方鐵道ハ三錢六厘、是三呎六吋ノ分デス、ソレカラ國有鐵道ハ貨物ガ一噸、一哩平均二錢七厘六毛、然ルニ私有鐵道ハ九錢四厘、是ハ平均額デア、或ハ最高ヲ示シタモノデア、アルカ知ラヌガ、其文書ノ中ニハ古クテ私今記憶シマセヌガ、何モナカッタ、ソコデ問題ハ先刻ノ私ノ大切ナ質問ニ立歸ッテ考ヘテ見ル、即チ地方鐵道ヲ獎勵シテ國有鐵道ノ補助機關トスルナラバ、此三十四割モ高イト云フヤウナ貨物ノ運賃ト云フモノハ、非常ニ產業交通上影響ガアルト私共ハ見ル、此運賃關係ヲ決メルニ付テ、何カ一定ノ物差ガナケレバ、私有鐵道ノ濫設濫許ヲシテモ、其目的ヲ達成スルコトハ出來ナイノデナイカト考ヘテ居ル、ソレデア、ルカラ運賃標準ヲ伺ッタヤウナ譯デアリマスガ、政府ハ將來私有鐵道ヲ保護

シテ行ク上ニ於テ、或ハ監督指導獎勵スル上ニ於テ、今度ノ改正法案モ出來テ居ルヤウデア、之ニ伴ッテ地方鐵道ニ關スル運賃ノ標準ヲ、何カ據リ處ガアッテ決メルヤウナ御考デモナイノデスカ、課長サントウデスカ、何カ御案ガアリマスカ

○細野鐵道書記官 只今申上ゲタ御答辯ヨリ外ニ御答辯ガ出來マセヌ

○工藤委員 志賀サン、ドウデスカ、私有鐵道ノ運賃ヲ下ゲル方針ハナイデセウカ、ドウデセウカ

○志賀政府委員 如何ニモ國有鐵道ニ比較スルト運賃ノ高イコトハ疑ナイ事實デアリマス、併シ是ハ只今細野課長ヨリ申上ゲマシタ通り、各鐵道會社ニ就テ營利會社トシテノ本分並地方ノ產業ノ發達上考慮致シマス、勢ヒ短カイ距離ノ鐵道ハ運賃ガ高クナケレバ會社ガ存立シテ行カヌト云フ結果ニナル、ソレデア、ルカラ會社ノ存立ヲ失ハザル限度内ニ於テ、或ル高イ運賃モ致方ナイトシテ之ヲ許可シテ居ル次第デアリマスガ、愈地方產業開發ノ爲ニドウシテモ運賃ガ高イ、此會社ニ依テハ其地方ノ產業ノ發達ガ期シ得ベカラザル場合ニハ、過般申上ゲマシタ通り、地方公共ノ利益ノ爲ニ、矢張買收シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ來ル、國有ニナリマス、運送距離ガ長クナリマスカラ、隨テ地方鐵道トシテ短距離ニ於ケル高キ運賃ヲ收入致シマセヌデモ、立派ニ五分以上ノ利益ヲ見ルコトガ出來ル、斯ウ云フ立場ニ於テ地方鐵道ヲ買收シナケレバナラヌト云フ必要ヲ生ジテ來ル次第デアリマス、左様ナ狀態デアリマスカラ、今俄ニ地方鐵道ノ運賃ヲ引下ゲサセルヤウニ命ジマス、云フコトハ、事實上爲シ得ザル所デアリマス、勿論其地方ノ產業開發ト相俟ッテ、其鐵道會社ガ非常ナ收益ヲ見マシヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ運賃引下ヲサセルコトモ出來ルノデアリマスカラ、其點ニ於テハ躊躇致シマセヌガ、今日ノ程度ニ於テハ、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、國有鐵道ト比較シテ高キ運賃モ已ムヲ得ザルモノト認メテ居ル次第デアリマス

○工藤委員 此間私ガ買收線ニナツテ居ル鐵道ニ對シテ、最近三箇年間ニ運賃ノ引上ヲ認可シタ例ヲ求メマシタ所、三ツ程アルト云フ御話デアリマシタ、一體買收スルト云フ線路ハ、當局者トシテハ事前ニ於テ相當ナ年月ヲ置イテ御調ニナツテ居ルダラウト思ハレル、先達委員課ヲ通シテ私共ニ見セテ吳レタ考課狀ノ御調ナドヲ見テモ、三年位前カラ色々ナ報告書類ヲ御調ニナツテ居ルヤウデア、ル、サウスルト將來買收セラレル線路ニ付テ、運賃ノ引上ヲ認可スルヤウナコトハ、是ハ鐵道會社トシテハ無理ガナイケレドモ、其及ボス所ノ影響ハ買收價格ニ相當ナル關係ヲ有ツテ來ルノデアリマスガ、此點ニ關シ

テ政府ハ從來サウ云フ買收ノ候補線ニ對スル所ノ運賃ノ引上ニ對シテハ、何カ相當ナ標準カ、取扱ノ方法ガアッタノデスカ、ドウ云フ工合ニナツテ居リマス

○細野鐵道書記官 買收ト云フコトハ無論議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌノデアリマス、鐵道省ダケデ買收スル譯ニ參リマセヌガ、無論買收ト云フコトガ確定シタ鐵道ニ付テハ、運賃ノコトハ嚴重ニ調査シテ居リマス、又先刻差上ゲタ表デ運賃値上ヲシタノハ皆ナ貧乏會社バカリデアリマス、殆ドソレダケデハヤッテ行ケナイ、其買收サレルモノハ建設費デ買ハレル鐵道ダケノヤウニ思ッテ居リマス、サウ記憶致シテ居リマスガ、如何デアリマス、今度ノ問題トシテハ運賃ノ値上ト云フコトハ買收價格ニ關係ハナイヤウニ思ヒマス

○工藤委員 貴方ノ今ノ御答ノ通り固ヨリ議會ノ協賛ガナケレバ買收ハ出來ナイノデ、私ガ此間カラ鐵道大臣ニ御尋シタノハ其處デア、將來買收サレルカサレナイカ、國有鐵道ニ準ズベキ線デア、ルカラ、買收シナケレバナラヌカドウカト云フ一定ノ方針ト云フモノガ決ッテ居ル答デア、ル、若シソレガ決ッテ居ルナラバ行政官廳トシテ運賃其他ヲドウスルトカ云フコトハ、何レモ監督權ガ其處ニ及ンデ居ル譯デア、ル、然ラザレバ無方針デア、ルカラサウ云フコトニナル、隨テ買收ノ手續ノ濟ム迄ハ鐵道

會社が賃金ノ値上ヲ要求シテモ之ヲ拒ム理由ガナクナル、一定ノ方針ガ無イカラ何トシテモ追窮スレバスル程、鐵道省ニハ何等ノ運賃其他私有鐵道ノ買収或ハ監督ニ付テノ方針ガナイト云フコトニナル、其元ガ私有鐵道ヲ許可スル一ツノ方針ガナイ、即チ將來國有鐵道ニ準ズルダケノ線路トシテ豫メ施設ヲシテ置カナイ結果デアラウト思フ、後ハ政治論ニナリマスカラ、課長サンニハ御迷惑ニナリマスカラ、是ハ止メテ置キマス、次ハ國有鐵道ノ運賃ヲモウ少シ下ゲルヤウナ工風ハナイカ、局長サンハ先刻御在ガナカッタガ、私共ハ東北地方ノ事業家、企業家ノ狀態ヲ見テドウモ鐵道ノ運賃ノ高イノト、配車ノ巧ク行カナイノト、其爲ニ此處迄來ル中ニ五回モ七回モ積換ヘル奥羽線ナドハ殊ニ甚シイ、是ハ單リ運賃ガ安クテモサウ云フ手數ニナルコトハ困ル、ソコデ此間モ木材關稅委員會ノ人々ガ話ヲシテ居リマシタガ、亞米利加ノ晚香坡カラ亞米利加ノ大キナ木ヲ持ッテ來ルノニ噸當リ八弗半デ横濱ニ來ル、然ルニ奥羽線ハ一週間位掛ッテ來テ賃金ハソレヨリ高クナルト云フ有様デア、將來外國品ヲ排斥シナケレバナラヌ時ニ、二千哩カラノ加奈陀カラ此處迄來ル賃金ト、東奥ノ線路ノ所デサウ云フ譯ニナッテ居ルト云フコトハ、何トシテモ鐵道ノ大失策デア、國有鐵道ヲ採用シタ重大ナル理由ハ此間モ貴方

ハ御出デ、ナカッタカ知レヌガ、私ハ申上ゲタ、吾々ハ國有鐵道ヲ國策トシテ採用シタノデアッテ、先以テ運賃ノ統一、是ガ産業上重大ナル理由ガアル、現ニ今私ガ引用シマシタ通り、私有鐵道ハ九錢四厘、二十四割ニ近イ所ノ國有鐵道ニ比シテ運賃ヲ取ッテ居ル所ガアル、所ガ私有鐵道ハ今言ッテヤウナ理由ヲ已ムヲ得ナイトシテモ、國有鐵道ハマダマダ運賃ヲ下ゲナケレバ外國ノ産業ト拮抗スルコトハ出來ナイダラウト思フ、是ハ貴方ガ運輸局長トシテ單純ナ行政事務的ナ方面カラ色々御考モアリマセウケレドモ、日本ノ産業ヲ獎勵スル爲ニ、此運賃ヲ低減スルヤウナ政策ヲ要求スル義務ガアル、何故ナラ運輸局長トシテハ出來ルダケ安イ運輸ヲシナケレバ産業ノ發達ニナラナイ、ソコデ斯ウスレバ詰リ宜イト云フコトノ案ガ貴方ニハアルダラウト思ヒマスガ、運賃低減ニ付テ貴方ハドウ云フ事務上ノ御考ヲ持ッテ居ラレカ、外國トノ比較或ハ富ノ程度ハ亞米利加ト日本トハ餘程違ヒマシテ、算盤ノ基礎ガ違ヒマスケレドモ、日本ノ貨物旅客モサウデスケレドモ、貨物ノ運賃ニ付テ之ヲ引下ゲル方法ガアレバアル、ナケレバナクテモ宜イガ、兎ニ角御意見ヲ聽カシテ戴キタイ

○寬政府委員 只今ノ御尋デアリマスガ私モ出來ルダケ總テノ運賃ヲ安クスル、又只今ノ御質問ニアリマシタヤウナ、サウ云フ意見ハ全部事實トハ認メマセヌガ、出來ルダケサウ云フヤウナ事柄ヲ少クスルコトニ付テハ日夜考ヘテ居リマス、又私ノミナラズ鐵道省ニ職ヲ奉ジテ居ル者ハ皆考ヘテ居リマス、洵ニ御同感デアリマス、併シ只今ノ御話ノ事實ノ中ニ、多少間違ッテ居ルト思フ事ガアリマスカラ、修正サシテ戴キタイ、旅客運賃ヲ調べテ見マシタコトニ付キマシテ、先ヅ第一ニ申上ゲマスガ、最近ノ調ニ依リマスト、而モ是ハ爲替相場デアリマシテ、日本ノ爲替ハ少シ下ッテ居リマスカラ、寧ロ比較的二日本ノ運賃ガ高イコトニ出テ居リマシガ、ソレニ依リマシテモ一人ガ一哩動キマス所實際拂ッテ運賃ハ、日本ハ二錢二厘六毛デアリマス、英吉利ガ四錢五厘七毛デアリマス、亞米利加ガ六錢五毛デアリマス、獨逸ガ二錢三厘五毛デアリマシテ、先ヅ世界ヲ通ジテ旅客運賃ハ日本ガ一番安イノデアリマス、併シ是ハ今御話ノ通りニ日本ガ安イカラト言ヒマシテモモット下ゲル必要ガナイトハ申スノデハアリマセヌ、日本ノ富ノ程度ガ低イカラ下ゲタイと思ヒマスガ、併シ此頃ノヤウニ勞銀ニ致シマシテモ漸次騰貴致シテ居リマスシ、又鐵道ニ致シマシテモ總テノ材料モ全部日本デ出來テ居ルモノデモアリマセヌカラ、日本ハ國有鐵道ノ收支ハ、詰リ外國カラ色々ナモノヲ取寄セナケレバナリマセヌノデ、ソレニ依テ實際建設費ガ

高クナリマスカラ、安イ賃金デ以テヤル爲ニ日夜働イテ居リマス、殆ド日本ノ國有鐵道ノ從事員ノ勞力ト云フモノハ、外國ノ從事員トハ比較ニナラヌヤウナ實狀デアリマス、是レ以上ニ國有鐵道ノ從事員ヲ働カセテ賃金ヲ下ゲルト云フコトニ付テハ、餘程ノ疑問ト思ッテ居リマス、ソレカラ貨物ノ方ニ付キマシテハ、日本ハ一噸ノ貨物ヲ一哩運ビマスノニ事實拂ッテ居リマスノガ二錢八厘二毛デアリマス、英吉利ガ五錢八厘九毛デアリマス、米國ガ二錢三厘七毛デアリマス、獨逸ガ三錢三厘四毛デアリマス、詰リ是ダケノ中デハ日本ノ方ガ米國ヨリモ高イト云フコトニナツテ居リマス、是ハ尙色々ゴザイマスガ、何故ニ日本ノ運賃ヲ斯様ニ高クシナケレバナラヌカト言ヒマス、日本ハ一番初ニ拵ヘマス時ニハ狹軌式デアツテ、大キナ機關車ヲ用ヒマシテ、長イ列車ヲ引張ッテ行カセルコトガ出來ナイ、又亞米利加ノ地方ノヤウニ日本ノハ平坦デナク、非常ニ勾配ガアリマシテ、石炭ナドモ餘計焚カナケレバナラヌ、又隨テ「レール」車輪ノ磨滅ハ亞米利加ノ比デハナイノデアリマス、ソレダケノ比ヲ以テシテ、是ダケノ運賃デアルト云フコトハ、如何ニ日本ハ貧乏世帯デ苦シンデ居ルカト云フコトヲ御推量願ヒタイト思ヒマス、又配車ノ點モ先刻御話デアリマシタガ、是モ吾々ハ出來ルダケノコトヲシタイト思ヒマス

ガ、日本ハ貧乏デアリマス、亞米利加ハ金ガ餘ッテ居ル爲ニ、譬ヘテ見マスト茲ニ百車要ル場合ニ於テハ二百車持ッテ居ル、又時ニハ車ヲ置クガ爲ニ非常ニ線路ヲ餘計持ッマシテ、非常ニ不經濟ナルコトヲヤッテ居ルデアリマス、又日本ハ貧乏デ運賃ヲ安クスル爲ニ、一年ニ百車要リマスノニモ、最低六十車トカ八十車位ヲ用ヒマシテ、ソレヲ日夜運轉シマシテ、出來ルダケ僅ナ貨車ヲ以テ、出來ルダケ能率ヲ擧ゲタイト思ッテ居ルデアリマス、亞米利加ノヤウニ非常ナ富ヲ持ッマシテ贅澤ヲ盡シタ所ノ鐵道ノヤウナコトハ出來ナイノデアリマス、併ナガラソレヲ以テ漸ク今日ノヤウナ輸送ヲ致シテ居ル、斯ウ云フコトヲ御考願ヒタイト思ヒマス、併シ此頃ニ於キマシテハ、數年前ノ所謂戰後ノ好況時代ト異ナリマシテ、餘程貨物ノ出荷モ少クナリ、貨車モ殖エテ參リマシタカラ、今日デハ非常ニ配置ニ困ッタト云フヤウナ實例ハナイノデアリマス、併ナガラ何分ニモ人間ノヤッテ居ル事デアリマスカラ、左程眼ガ届キマセヌカラ、時々苦情ヲ聽キマスカラ、其時ニハ之ヲ救済スル方法ヲ講ジマシテ、出來ルダケ圓滿ニ輸送ヲ圖ッテ居リマスガ、若シサウ云フヤウナ事實ガアリマスレバ、早速言ッテ戴ケバ出來ルダケ圓滿ニヤッテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ先刻亞米利加カラ日本ニ持ッテ來ルダケノ船ノ運賃ト東京カラ東北ニ

持ッテ行ク運賃ト同ジダト云フ御話ガアリマシタガ、今調ベテ見マシタガ、東京カラ青森迄持ッテ行キマスノニハ運賃ガ七圓五錢掛ルコトニナッテ居リマス、先刻ノ御話ハ八弗デアリマスカラ、サウスルト十六圓デアリマス、此方ハ七圓デアリマスカラ、事實ハ一寸違ッテ居リマスガ、併シ兎ニ角一ツノ船デ以テ大量輸送ヲ致シマスノト、鐵道ノ小口デ輸送致シマスノトハ、是ハ經費ノ點ガ違ヒマス、又鐵道ト荷車トハ是非常ニ違ッテ居リマス、鐵道東京カラ大阪ニ行クノト、東京市内ノ運賃ト同ジデアリマス、左様ナ工合ニ輸送スルモノガ違フ爲ニ、運賃ニ違ヒノアル事ハ、萬已ムヲ得ナイ事デアラウト思ヒマス、サウスレバ運賃ヲドウ云フ風ニシテ下ゲタラ宜イカ、下ゲル方法ガアルカト云フコトデアリマスガ、是モ一寸先刻申シマシタガ日本ノ鐵道ガ廣軌式デアリマスナラバ、一度ニ多量ヲ輸送スルコトガ出來マスカラ、直ニ運賃ヲ下ゲルコトモ出來マスカラ、日本ノヤウナ貧乏ナ國デハ、狹軌ヲ全部廣軌ニスルト云フコトハ、財政上不可能デアリマス、吾々ト致シマシテハ鐵道ノ運賃ハ出來ルダケ下ゲタイト思ッテ居リマス、大體貨物ノ輸送ニ於テ一番高イハ何デアルカト云フト、先刻モ申シマシタガ、小運送ノ運賃デアリマス、東京市内ノ配達ノ運賃ト東京カラ大阪迄輸送スル、運賃ガ同ジデアルト云フコトハ、何ト

言ヒマシテモ、小運送ノ運賃ガ高イト云フコトガ原因シテ居ル、ドウシテモ是ハ日本ノ物價ヲ下ゲル、産業ノ發達ヲ圖ルト云フ方面ニ於キマシテハ、鐵道ノ運賃モ出來ルダケ下ゲナケレバナラヌ、全國ニ於ケル小運送ノ運賃モ下ゲナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ヲ考ヘテ居リマス、其點ハ鐵道省ト致シマシテハ色々小運送ニ關スル所ノ調査モヤツテ居リマス、又全國ニ於ケル荷馬車ヲ改良スル爲ニ、先達懸賞募集モ致シマシタ、又先頃小運送ノ合同問題ノ如キコトニ付キマシテモ、其事柄ノ時期方法ハ別ト致シマシテ、大體ニ於キマシテハ小運送賃ヲ出來ルダケ下ゲヤウ、斯ウ云フコトノ爲ニ努力致シテ居ル一例デアリマス、尙其他ニ於キマシテハ、此頃年々數十萬圓ノ金ヲ投ジマシテ、停車場ニ於ケル貨物ヲ積ンダリ下シタリスル其費用ヲ節減スル爲ニ、色々ナ設備ヲ致シテ居リマス、又石炭ヲ輸送スル爲ニハ、船積ノ方法ニ付テモ色々ノ方法ヲ研究シテ居リマス、一例ヲ舉ゲテ見ルト、棧橋ヲ架ケテ貨車カラ石炭ヲ船ヘ移シマスノト、人ノ肩デ輸送スルノトハ、數十倍ノ差ガアリマス、サウ云フヤウナコトニ付キマシテモ鐵道省デハ進ンデ改良設備ヲ致シマシテ、貨物ノ運送ノ爲ニ、詰ラヌ金ノ掛ラヌヤウニ努力致シテ居リマス、國有鐵道ノ從事員全力ヲ擧ゲテ、今ノヤウナ洵ニ不完全ナル設備ヲ以テシテ、尙

且此成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ幾重ニモ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス
○工藤委員 流石主務局長ダケニ能ク判リマシタケレドモ、私ノ質問ガ少シク委員長ノ仰セニ從ッテ、簡單ニシタ爲ニ取落シテ居リマシタガ、此太平洋ヲ越ヘテ來ル汽船ノ運賃ト東北カラ來ル運賃ガ——私ハ材木ノ事ヲ申シテ居リマス、今ハ東北デ亞米利加ノ大物ヲ却テ使ヒマス、是ハ大キナ物ニナルト、車ヲ二ツモ三ツモ繋ガナケレバ出來ナイ、ソコデ五割十割モ高イモノニナルト云フコトヲ聞イテ居ル、私ハ一般的ニ申シマシタカラ言葉ガ足ラナカッタ、是ハ別段御訂正ヲ願フ事デモアリマセヌガ、外國トノ比較デアリマスガ、數字ハサウ出ルデセウ、連モ英吉利ヤ亞米利加ハ是ハ日本ト富ノ程度ガ問題ニナリマセヌガ、貴方ガ今仰セラレマシタ最低限度ノ運賃デ以テ之ヲ賄ッテ行クト云フコトハ容易ニ出來ナイ、私ハ實際御苦心ハ知ッテ居ル、現業員ガ風雪ヲ冒シ、風浪ト闘ッテ居ルト云フコトガ——鐵道ニハ浪ガナイカラ風浪ハオカシイカ、連絡船ナドデハサウ云ウコトモアルガ、此狀態ハ現業員ノ仕事ニ付テハ實際感服シテ居ル、私ハ青森市ニ居リマシテ鐵道ノ事情ハ始終能ク見テ居リマスカラ知ッテ居リマスガ、其點ハ私共ハ感謝シテ居ル感謝シテ居ルガ、鐵道ノ收入ノ少イト云フコトハ色々事情モアルケレドモ、

私共ハ是ハ政治上ノ議論ニナルガ、大臣ガ居ラナイカラ申シマセヌガ、矢張放漫ナル建設政策ガ禍シテサウナルノダト思ヒマス、鐵道ノ運賃ヨリ生ズル益金ヲ様々ノ方法ニ依テ鐵道ノ會計ト云フモノハ豊カニナリマス云フト、運賃ヲ下ゲル途ガアルト云フコトヲ私共ハ此前カラ大臣ニモ申シテ居ルノデアリマス、汗水流シテ働イテサウシテ黨勢擴張トカ色々ナ無用ノ鐵道ヲ急ニ拵ヘテ見タリ、拵ヘル方デハ儲カルト言ヒマセウ、儲ケガナケレバ協賛ヲ與ヘルモノガアリマセヌカラ、儲ケハアルト言ヒマセウガ、此點ハ私共ノ非常ニ苦心シテ居ル點デ、若シ此儘デ行ケバ運賃ヲ引下ゲルドコロデハナイ、收入ガ少ナイカラ勢ヒ運賃ヲ上ゲナケレバナラヌ、勿論運賃ハ物價ノ上テ居ル趨勢カラ見レバサウヒドクハナイヤウデアリマスガ、國有鐵道トシテハマダマダ運賃ヲ引下ゲテ産業ノ助長ヲ圖ラナケレバナラヌ、産業立國論ヲ唱ヘテ居テモ、鐵道大臣ノ説明ナドヲ何時カ聞イタ時ニハ、産業立國ニハ交通機關ノ發達ガ必要デアッテ、隨テ産業ノ振興ヲ圖ルニハ運賃ト云フモノガ——少クトモ國有鐵道ノ運賃ト云フモノガ總テ交通機關ノ標準ヲ爲スモノデアルカラ、運賃ニ付テハ出來ルダケ安クスルト云フ方針ヲ執ッテ行カナケレバ國有鐵道ヲ造ツタ重大ナル原因ハ茲ニ消滅スルノデアリマス、外國ノ例ハ寧ロ日本

ト貧富ノ度ニ於テ色々ナ點ニ於テ違ヒマスカラ申上ゲマセヌガ、原因ニ遡ッテ見ルト云フト、アナタ方ガ今少シク鐵道省全體トシテハ斯ウ云フ運賃ハ引下ゲナケレバナラヌシ、設備モ改善シナケレバナラナイシ、運轉ノ系統モ正サネバナラヌ、唯一面ニ於テ然ラバ斯ウ云フコトヲドウスレバ收入ガ得ラレルカ、運賃ヲ多クスルカ、經費ヲ節約スルカ、外ニ途ガナイ、然ルニ運賃ガ手一杯デアレバ日本國有鐵道ハ破産スル、國有鐵道ガ破産スル重大ナル原因ハ何處ニ在ルカト云フト、矢鱈ニ建設スルコトデアアル、矢鱈ニ「ボロ」會社ヲ買フコトデアアル、是ハ政治上ニ於ケル重大ナル原因デアアル、隨テ其影響ガ全國ニ及ビ、延イテ世界各國ノ物產ヤ産業ト競争ガ出來ナイ結果ニ立至ルノデアアルカラ、私共ハ之ヲ考ヘテ運輸局長ニ運賃引下ノ餘地ガアルヤ否ヤ、例ヘバ下ゲルモノトシタナラバ此間鐵道大臣ノ御話ヲ聞クト考ヘナイデハナイ、或ル特殊ノモノニ付テハ相當考慮ヲ費シテ居ルト云フコトデアアルケレドモ、原料品ナドニ付テハ相當御骨折ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、運賃引下ニ向ッテ突願ハナケレバナラヌト考ヘマス、此原料或ハ大量貨物ニ付テハ、將來ドウデス、モウ少シ下ゲル餘裕ガアリマスカ、是ハ政策ニ關係ガアルカラシテ、局長デハ叱ラレテモ困ルガ、ドウデス、一ツ

相談シテ……
○寬政府委員 一寸初ニ御話ニナリマシタ政策ハ……
○工藤委員 政策ハ宜シイ、結論ダケ……
○寬政府委員 結論ノ今ノ御話ハ、只今貨物運賃ノ等級ノ改正ヲ致シテ居リマシテ、無論貨物ノ收入ト云ヒマスモノハ、何モ賃銀ヲ高クスルノミガ貨物收入ヲ多クスルノデハナク、運賃ヲ安クシテモ餘計ニスルコトガ出來ル、貨物收入ノ營業ノ方面カラ運賃ヲ下ゲナイト斷言シタ譯デヤナイノデアリマシテ、總括的ニ言ヘバ斯ウ云フコトニナルト云フコトヲ先刻申上ゲタノデアリマス、隨ヒマシテ原料品ノ運賃等ニ付キマシテハ、只今ヤッテ居リマス所ノ貨物ノ等級改正ノ中ニ加味致シマシテ、出來ルダケ下ゲタイト思ッテ居リマス、下ゲナイト云フコトヲ申上ゲタコトハ少シ趣意ガ違ヒマス、今運賃ガ安クテ下ゲル餘地ガ無イト云フコトヲ申シマシタガ、原料ニ付テハ出來ルダケ考慮ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス
○工藤委員 又監督局ノ方ヘ參ッテ濟ミマセヌガ、此私有鐵道ヲ許スニ付テ、國有鐵道ノ線路トノ並行關係ハドウ云フ方針デ從來ノ取扱デハ決メテ居リマスカ
○細野鐵道書記官 並行關係ト云フコトノ御質問ハ、國有鐵道ニ並行シテ居ルモノヲ許スカ許サヌカト云フコトニ

ナリマスガ、國有鐵道ニ並行シテモ、若シ他ニ一線必要デアルト云フ場合ハ許シテ居リマス、此例ハ澤山アリマス、東海道ノ如キハ隨分アリマス
○工藤委員 ソレハドウ云フ場合デスカ、御許ニナル場合ハ……
○細野鐵道書記官 國有鐵道ダケノ輸送デハ足りナイ、其以外ニ若シ民間デ希望者ガアッテ出願シテ來テ、其會社ガモウ一本存在シテモ會社ガ成立出來ル、地方的ニモ非常ニ便利ナリト云フ場合ニ許シテ居リマス
○工藤委員 ソレデハ詰リ國有本線ノ輸送能力ガ十分デナイカラ、假令並行デアッテモ之ヲ補助スル意味ニ於テ許ス斯ウ云ウ意味デスカ
○細野鐵道書記官 是ハ私共ハ政策トシテ色々ナ考ヲ持ッテ居リマス、無論政策デハナイデスガ、方針ト致シマシテ地方鐵道ハ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道デアリマス、例ヘバ例ヲ以テ申シマスレバ、京都大阪間、此處ニハ京阪道デスガ、殆ド鐵道ト同ジ作用ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ新京阪ト云フモウ一ツノ鐵道モアル、是ト國有鐵道トハ實際ヲ云ヘバ全ク使命ガ違フノデス、詰リ國有鐵道ハ幹線トシテ長距離ノ一般交通ヲ目的トスル、地方鐵道ハ地方鐵道法ニアリマス通り、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道デアリマスカ、國有鐵道ノ輸送能力ガ足りナイカラ地方

鐵道ヲ許スト云フヤウナ趣旨デナクシテ、其間自カラ使命ガ違ッテ來テ居ルト思ヒマス、只今申上デマシタヤウナ例ハ、一方ハ電車ヲ頻繁ニ五分置キ、六分置キニドン、發車シテ居ル、國有鐵道ハ一時間置キ位ニ京都大阪間ヲ動イテ居ル、ソレハ單ニ京都大阪間ノミナラズ、東海道線モサウ云フ風ニシテ動イテ居ルト云フ事情デアリマスカラ、一概ニ國有鐵道ガ足りナイカラ地方鐵道ヲ許スト云フ意味デナク、其二ツノ間ニハ自カラ違ッタ目的ガアルヤウニ思ヒマス

○工藤委員 サウスルト一寸ソレハ今日迄ノ答辯ニ對シテ餘程オカシナモノニナリマスヨ、ソレハ斯ウナル、地方鐵道ハ本來地方鐵道トシテノ使命ガアル、隨テ國有鐵道ノ使命トハ違フ所ノ地方ノ鐵道デアアル、國有鐵道ハ國有鐵道トシテ使命ガアル、即チ敷設法ニ依テ定メタル別表ヲ本ニシテヤッテ居ル、貴方ノヤウナ御話ニスレバ、國有鐵道ト關係ナク、地方鐵道ハ地方鐵道トシテノ使命ヲ以テ特ニ許スノダ、是ハ敷設法ニモアリマスカラ許スノハ當然デアリマセウ、又國有鐵道ノ規定ノ中ニモソレハ書イテアル、鐵道國有法ノ中ニアリマスカラ、ソレハ私ハ否定シテ居リマセウ、唯先刻伺ッタノハ、國有鐵道ニ並行シテ或ル距離、無論地方鐵道デスカラ短距離デアリマス、此短距離デアッテモ貨客ヲ運送スル上ニ於テ、其

並行區間——並行間隔ガ多クナイ場合ニ於テ之ヲ許スト云フコトハ、貴方ノ先刻ノ第一回ノ時ノ答辯ハ、並行シテ居ッテモ國有鐵道ノ輸送ヲ助長スルガ爲ニ許スト云フ意味モアツタカラ、ソレデ私ハ重ネテ伺ッタ、モウ少シ簡潔ニ言フト、國有鐵道ノ或ル哩間ニ、二十哩三十哩ノ間ノ並行鐵道ヲ許ストスレバ、ドウ云フ方針デソレヲ御許ニナルカ、地方鐵道ヲ許ス方針ハ私ハ能ク分ッテ居リマスガ、ソレガドウ云フ場合ニ特ニ許シテ居ルカ、詰リ特別ノ意味ニ於テ許ス場合モアルシ、今度買収シタノハ特別ノ意味デ買収シタノデゴザイマスカラ、ドウ云フ場合ニドウ云フ標準デアリマス、其場合ニハドウ云フ意味デアアルカ、單純ナル地方鐵道トシテノ意味カ、或ハ國有鐵道ノ運輸能力ヲ助長スル意味ニ於テアルノデアアルカ、無論如何ナル線路デモ鐵道ノ在ル所ハ、必ズ榮養線ニナルニ違ヒナイ、獨リ國有鐵道バカリガ榮養線デナイ、私有鐵道モ國有鐵道ノ御蔭デ榮養線ニナルノデアリマス、此邊ハ閑却サレテ居ルガ、其處ハ別ト致シマシテモ、其點ハドウデスカ

○細野鐵道書記官 其關係ハ最初ニ申上デマシタ通り、國有鐵道ダケノ交通デハ足りナイ、其處ニモウ一本地方鐵道ガ在ッテ、地方鐵道ノ方モヤッテ行ケルシ、隨テ地方ノ者ハ非常ナ便宜ヲ受ケルト云フ場合ニハ許ス、若シ並行シテ許シテモ地方鐵道ガ實際ニヤッテ行ケナイト云フヤウナモノハ許サヌ、京都大阪ノ如キ國有鐵道以外ニ地方鐵道ガアッテ、ソレモ立派ニヤッテ行ケルナラ許ス、斯ウ云フ譯デアリマス

○工藤委員 其點ハ分リマシタ、ソコデ問題ハ斯ウナル、今度政府デ許シタ私有線ノ中デ、私有線ヲ許シテ居ル中デ、可ナリ並行シテ居ルノガアル、是ハ政府ノ見ル所デハ無論調査ヲシタカラ行ケルト見テ居ルト云フコトデアリマセウケレドモ、可ナリ兩方トモ困ル問題ガ起リハシナイカ、或ハ大阪トカ或ハ京都トカ或ハ東京附近ニ於テハ、無論並行線ハ何ボ許シテモ、或ハ並行シテ行カウガ、放射的ニ行カウガ、色々許シテ宜イ場合ガアルガ、サウデナイ土地モアル、相當此土地ノ狀況ニ依テハサウデナイモノモアルカラ、茲ニ一定ノ方針ガ無ケレバナラヌノヂヤナイカ、ソレガ事實アルカラ私ハ伺フノデアアルガ、ソレト今一ツハ此國有鐵道ハ既ニ開通シテ數十年ヲ經ッテ相當ノ機能ヲ現ハシテ居ル、サウシテ事實ニ於テハ輸送能力ガ不十分デハナイ、不十分デハナイガ、尙之ニ並行線ヲ許スト云フコトニナルト云フト、國有線モ私有線モ二ツナガラ倒レルト云フヤウナ、所謂二重資本ノ爲ニ倒レルモノガアリハシナイカト云フ弊ガアルカラ、ソレデ其標準ヲ伺ッテ居ル、而シテ斯ウ

云フ例ヲ引イテ私ハ伺ッテ居ル、私有鐵道ト國有鐵道ト並行シテ居ル場合、國有鐵道ニ輸送能力ハ相當ニアルガ、ソレニモウ一本新シク私有鐵道ヲ許シタ爲ニ、私有鐵道モイケナクナルシ、國有鐵道モソレガ爲ニ榮養ドコロデハナイ、兩方ニ分レルヤウニナル、資力ガ分レルカラ、サウ云フ線ハ將來ニ於テ買収サレル性質ヲ持ッテ居ルカドウカ、是ハドウデス、並行ヲ許シタ後ニ於テ——許可シテサウシテ後日ニ至ッテ並行シタト云フヤウナ線ヲ、會社ガ困ルダラウカラト云ッテ之ヲ買収スルナント云フコトハ、買収シタ例ト云フモノガアルカドウカ、從來アリマスカ

○細野鐵道書記官 一寸御趣旨ガ能ク分リマセヌガ……

○工藤委員 國有鐵道開通以來數十年、而シテ輸送能力ニ於テ、何等不足ヲ感ゼザル國有線、之ニ三里二里位ノ間隔ニ並行セル二十哩ノ地方線ヲ許シテ、一ツナガラ影響ヲ受ケル、其線ハ若シ國有鐵道ハ如何ニ影響ヲ受ケテモ仕方ガナイガ、私有線ガ實際ニ於テ營業不可能ニナッタ場合ニ、復タ例ノ今ノ内閣ノヤウニ買上ゲルト言ヘバ、詰リ其許シタコトガ惡イノデアアルガ、サウ云フモノヲ買収シテ困ッタト云フ性質ノモノガアリマスカ

○細野鐵道書記官 困ッタ爲ニ買収……

○工藤委員 許サレテハ其會社モ困

ル、事實立ッテ行ケルモノデナイ、ソレヲ許シタガ後ニナッテ營業狀況ガ惡イトカ色々ナリ窟ヲ附ケテ之ヲ買収シタ事實ガアリマスカ

○細野鐵道書記官 サウ云フ先例ハアリマセヌ

○工藤委員 無イデセウ、無イノガ本當デス、隨テ許サヌノガ本當デス

○細野鐵道書記官 國有鐵道ニ竝行シテ地方鐵道ヲ許ス場合ノ方針ト云フ御話ニ對シテハ御答致シマシタ、サウ云フ方針デ許シテ居リマスガ、偶々其地方鐵道ヲ許シタ、併シソレハ成立タナカッタト云ッタノハ、詰リ政府ノ調査ガ間違ッタト云フ結果ニナルノデアリマスガ、例トシテドウ云フ鐵道デゴザイマスカ

○工藤委員 ソレハ今申上ゲヤウト思フ、三戸カラ野邊地驛近クノ千曳行ノ線路十七哩幾ラ約二十哩、是ハ鐵道敷設法ヲ作ル時ニ豫定線ニ入レタ、所ガ日本鐵道會社以來三戸カラ野邊地驛ヲ經テ青森ニ行ク東北本線ト云フノガアル、此間ト云フモノハ決シテ輸送ニ不足ヲ告ゲテ居ラナイ、ソレカラ又今度此線ハ私有鐵道ニ許サレタデセウ、併シ政府ノ答辯ニ依ルト、此鐵道ヲ許シタノハ國有線ノ榮養線ニナルカラ許スト言ウテ居ル、私等カラ見マスト如何ナル鐵道デモ榮養線ニナラヌモノハナイ、ケレドモ此處ニ十七哩幾ラ約二十哩ノ鐵道ヲ架ケテ、此鐵道ヲ竝行セ

シメテ、果シテ其使命ヲ完ウシ、經濟ガ旨ク立ッテ行クカドウカト云フコトハ、實際大ナル疑問デス、國有鐵道モ是ガ爲ニ此線路區間ダケデハ影響ヲ受ケナイ、ソコデ先刻政府委員ノ答辯デハ是ハ榮養線デアルト答ヘテ居ル、ケレドモ竝行線トシテ私有鐵道ニ許シタ、線路ノ各部落ヲ通過シテ行ク荷物ガ、何等カノ方法ヲ以テ何レモ東北本線ニ合流シテ居ル、竝行シテノ合流デハナイ、橫斷的ニ合流シテ居ル、ソレデアルカラ榮養線トシテハ是ガ有ッテモ無クテモ宜イヤウニナッテ居ル、ソレデ長イ間此豫定線ヲ作ルコトソレ自身ト云フモノハ既ニ政友會内閣デ此敷設法ヲ作ルト云フ問題ニナッテ居ッタガ、實際之ヲ經營シテモ國有線ト竝行シテ居ルカラ、商賣ニナラヌカラ誰モヤル者ハナカッタ、所ガ此度之ヲ出願シタ動機ト云フモノハ、是ハ志賀君ニ責任ガアル、七戸ニ行ッテ宿ッテ彼處ノ有志ノ歡迎ヲ受ケテ國有鐵道ニシテヤルトテサウシテ皆ガ筆食壺漿シテ迎ヘテ、サウシテ歸ッテ來テ、是ハ鐵道ヲ架ケテ吳レルダラウト云フノデ大ニ喜ンダ所ガ、今度私立會社ニ許ス、其顏觸ハ分ッテ居リマスガ、併ナガラ經營シテ行ク能力ハ無イ吾々カラ、見レバ何ノ爲ニ之ヲ許シタカト云フ疑問ヲ持ッテ居ル、何ノ爲ニ儲カラヌ線路ニ君ハ發起人ニナッタカト云フコトヲ聞イテ見タ所ガ、政友會内閣ガ直ニ買収シテ吳レルカラ今儲カラ

ヌデモ何時カ儲カル、又補助金モ吳レルト云フコトヲ言ッテ居ル、斯ウ云フコトハ一種ノ罪惡ダト思フ、企業上ノ罪惡ダト思フ、國有鐵道ハ既ニ茲ニ出來テ相當能力ヲ擧ゲテ居ッテ、能力ノ不足ハ無イヤウナ時ニ、是ト竝行シタ私設鐵道ヲ許スト云フコトニナッテモ彼處ハ山ノ狀況カラ見ルトヒドイ所デアル、私ハ屢歩イテ知ッテ居ル、詰リ貴方ニ先ニ伺ッタ數十年東北本線トシテ能力ニ於テモ別段缺ケル所モナク、別段複線ヲ造ル必要モナイ時ニ、故ラニ之ニ竝行スル私有線ヲ選ンデ之ニ投資セシムルト云フコトハ、第一ハ國有鐵道ノ營業、第二トシテハ私有鐵道、ソレ自身モ持ッテ行ケルモノデモナイト云フコトノ意味ニ於テ、貴方ニ監督局長代理トシテ此方針ヲ伺ッテ居ルノデス、唯若シ萬一是ハ將來買収スル爲ニヤッタシタト云フコトデアッテモ、買収ガ出來ナカッタ場合、此内閣バカリガ百代モ續クモノデナイノデアリマスカラ、時ノ政府ガ意見ヲ異ニシテ成立タナカッタラドウナサル、現ニ信濃鐵道ヲ何時カ買収シナケレバナラヌト云ッテ大ニ蚰配當マデヤッタガ、買収ガ出來ナクシテ株ガガラ下ッタト云フコトモアリマスカラ、實際企業家ニ對スル非常ナ脅威デアリマスカラ、此事ハ親切ナル爲ニ之ヲ事務上カラ伺ッテ置イタ次第デアリマス、之ヲ許スニ付テ單純ナル國有鐵道ノ榮養線トシテ許シタト云

フ答辯ダケデハ、私共ハ満足出來ナイ、即チ國有鐵道ヲ脅威スル一ツノ線ニナルト云フコトヲ私ハ考ヘマシタカラ、先刻來私ノ原則的ノ質問モ即チ斯ウ云フ所カラ出發シテ居ルノデアアル、ドウ云フ必要デ御許ニナッタノデアリマスカ

○細野鐵道書記官 鐵道ノ出願ニ對シマシテハ、或ル標準ヲ設ケマシテ、其標準ガ餘リ細カク申上兼ネルト思ヒマスカラ、若シ御必要ナラバ役所ヘ御出デニナッタラ如何デス

○工藤委員 サウ云フコトハ言フモノデハアリマセヌ……

○細野鐵道書記官 材料モアリマセヌシ此所デ御示シスルコトガ出來ナイ

○工藤委員 ダカラ之ヲ許シタ大體ノ標準ト云フモノガアルデセウ、御許シニナッタ……

○細野鐵道書記官 其標準ノ取方ハ沿線ノ人口ヲ標準トシテ、ソレニ沿線ノ人口幾ラニ付テドノ位ナ客ガ乗ルカト云フ大體ノ統計ガアルノデス、其統計ニ依リマシテ調べタ結果ガ……

○工藤委員 ソレハ材料ヲ御持ニナッタラドウデス、是ハ私タッタ一ツシカ質問ヲシマセヌガ、之ニ類シタモノガ何所ニモアルト思フ、私ハ斯ウ云フ種類ノ材料ハ澤山持ッテ居ル、ダカラ之ヲ唯一例トシテ伺ッテ居ル、唯此内閣ダケデ總テノモノガ終局迄解決スレバ宜イケレドモ、萬一地方ノ企業家ガ田ヲ賣

リ家ヲ賣リシテモ、資本ヲ拵ヘテ預ケ
テモ出來ルモノデナイ、私モ自動車デ
通ツテスラモ餘程困難ヲ感ズルヤウナ
所ヲ私有鐵道デ一哩二十萬圓三十萬圓
ヲ掛ケテ持ッテ行ケルモノデハナイ、從
來ハ國有線ニ合流スルヤウニドウシテ
居ツカト云フト、其所ヘ荷馬車トカ或
ハ自動車ヲ持ッテ行ッテ居ルノダカラ、
此物產ヲ本線ニ合流セシムル上ニ於テ
ハ、鐵道以外ノ機關デヤツテ居ルノデ、
此線ガ出來タカラト云ツテ別段特ニ榮
養線ニナルト云フコトハ私ハ考ヘラレ
ナイ、貴方ガ答辯ガ出來ナケレバ材料
ヲ持ッテ來テ御答下サイ、政務官ノ政治
上ノ意見ニ付テハ是迄聞イテ居ルカ
ラ、モウ聞ク必要ハナイ、聞イタ所ガオ
付キ合的ノ答辯ダカラ、事務官ヲ虐
メテ聞カナケレバ本音ハ分ラナイ問題
デアリマス、ソレデハモウ一ツ聞キタ
イ、田名部カラ大畑ニ至ル線ハ監督局
長ニ伺ヒマスカラ能ク聞イテ下サイ、
第五十二議會デ是ハ敷設法第一號ニ載
ツテ居ル田名部ヨリ大間ニ至ル二十七
哩、ソレヲ憲政會內閣デ五十二議會デ
漸ク豫算ヲ大畑迄取ツタ、然ルニ政友會
內閣ガ出來テ、其豫算ヲ今度ハ憲政會
ガ昭和六年カラヤルノハ程遠イコトデ
アルカラト云ツテ、地方民ニ演説ヲシテ
歩イテ、志賀君マデ大間迄出掛ケテ行ッ
テ演説ヲシテ歩イタガ、地方民ハ國庫ノ金デ
ドクノヤツテ吳レルダラウト思ッテ樂シ
デ居ツタ所ガ、不成立豫算ニ四年先キナラ

バイカスト云ツテ之ヲ線上ゲテ吳レテ、
サウシテ昭和四年度カラ着手スル案ヲ
豫算デ拵ヘテ吳レタ、所ガ今度出テ居
ルダラウト思フト、ソレヲ削ッテシマウ
タ、削ッタバカリデハナク大畑カラ大間
ニ至ル線路ヲ個人ニ許シタ、其間ニハ
津輕海峽ノ要塞モアリマス、重要ナル
我國ニ於ケル國防上ノ地位デアル、之
ヲ個人ニ許シタ、サウシテ今此削除シ
タ豫算ガ通過スルト大畑ト大間ノ間ヲ
許スノダト云フ政治的ノ背信行為ニ付
テハ、私共ハ別ノ機會ニ申上ゲマスル
ケレドモ、一度豫算ヲ組ンデ、地方ノ人
ハ國費ヲ以テ建設シテ貰ヘルト喜ンデ
居ル、ソレデモ先ガ長イカラト云ツテ線
上ゲテ吳レテ、不幸ニシテ豫算不成立
ニナツタノヲ奇貨トシテ今度ハ是ヲ削
除シタ、サウシテ今度ハ其豫算ヲ外ニ
持ッテ行ッテ利用スルト云フコトハ、實
ニ私共カラ見マスレバ餘リノ政治的背
信行為デハナイカト思フ、ソレデ藤井
達也君モ選舉區デアッテ隨分談判シタ
ト云フコトデアッタ、與黨ノ人ガ談判ヲ
シテ而モヤラヌ位デアルカラ、吾々ガ
言ッテモドウスルコトモ出來ナイ、ソコ
デ監督局長ハ此線路ハ個人ノ資本ヲ以
テヤレルト云フ思召デヤツテ居ラレル
ノデアアルガ、而シテ吾々カラ見マスレ
バ青森カラ北海道ニ連絡スルニハ五六
時間モ船デ以テ行キマスガ、此線路ト
云フモノハ、將來國有線ノ幹線ニナル
使命ヲ持ッテ居ル、詰リ日本帝國本土ノ

北端ノ大間迄線路ヲ持ッテ行ケバ、北海
道ニハ二三時間で行ケル、野邊地カラ
分レテ斗南半島ニ行ッテ津輕海峽ニ出
ル、此間ニハ大湊要港ガアル、而シテ此
津輕海峽ノ沿岸ハ斷崖絶壁ノ土地デア
リ、難攻不落ノ地勢デアアル津輕要塞モ
アル、恐ラク實際ニヤツテモ一哩四十萬
圓位ハ掛ルデセウ、之ヲ私立會社ガヤ
テ行ケルト思ウタナラバ以テノ外ノ話
デアアル、唯大畑ト田名部ノ間ハ割合ニ
土工工事モヤサシイカラ是ダケハ出來
ルケレドモ、是ダケデハ鐵道トシテノ
機能ヲ完ウスルコトハ出來ナイ、デソ
レハ大間迄豫定線トナツテ居ル、然ルニ
先達ノ郷里ノ新聞ヲ見ルト、大間カラ
大畑迄ハ私設會社ニ許シテ居ル、サウ
シテ貴族院豫算ガ通ルト云フト、田
名部大畑間ヲ許スノダト云フ、實際是
ハ本氣ニ事務上カラ私設會社で行ケル
ト思ッテ居リマス、規則ノ上カラハ何
ボデモ言ヘルケレドモ、實際ニ於テハ
飛ンデモナイ問題ヲ惹起シマス、地方
ノ人ハ實際迷惑ヲスル、早く出來ルコ
トハ地方民ニ取ッテモ必要デアリ、將來
國有鐵道ノ幹線ニナリサウナ運命ヲ持
ツテ居ル線路デアアルカラ、吾々モ一
モ早く出來ルコトヲ期待シテ居ル、而
モ資本ガ足りナイカラ國家ノ力ヲ期待
シテ居ルノデアアル、ソレヲ今度監督局
長ハ私有會社ニ許シテ居ル、實際福富
君ナドハ無責任デアアル、事務官ガ政府
ノ力デ從來モ許シ今迄モ許シタモノヲ

今度豫算ヲ削ッテ累ラ後ニ貽スト云フ
コトハ、實際不都合千萬デアルト思フ、
唯困ルコトハ內閣ハ始終更迭シ事務官
ダケガ殘ル、政治的ノ責任ハ事務官デハ
ドウスルコトモ出來ナイ、弱イ職業ノ
事務官ハ或ハ常ニ政府ノ御機嫌ヲ取ラ
ナケレバ出世ガ出來ナイカモ知ラヌ
ガ、直接地方民ヲ惑ハシ疲弊セシムル
コト甚シイ、私ハ大間カラ大畑迄ヤラ
レルト云フ發起人ノ人ニ聞イタ、本當ニ
ヤルノカト言フト、田名部カラ大畑迄
ハ十五萬圓モアレバ出來マセウガ、大
畑カラ先ハ斷崖絶壁連モ行ケルモノデ
ハナイ、是ハ三十萬圓以上モ掛ル、私共
ハ出願ハシタガ出來マセウカラ御上ノ
手ニヤツテ貰ヒマス、ト言ッテ居ル、此發
起人ノ中ニハ野村龍太郎君ナドガア
ル、大湊興業會社ナドヲ拵ヘタ例モア
ルモノデスカラ、多少鐵道其モノニ付
テハ有力デアリマセウ、ケレドモ大湊
興業會社ト云フモノハ今ハ殆ド破産狀
態ニ陥ッテドウスルコトモ出來ナイ、唯
將來國有鐵道ノ幹線ニ准ズベキ線路デ
アルト云フ故ヲ以テ、今無理ニ投資ヲ
シテ、サウシテ損害ニ加フルニ損害ヲ
以テシテ、サウシテ始終地方民ト鐵道
トノ間ニ苦情ガ出來ルト云フコトデア
ツテ見ルト吾々郷里ノ者トシテハ實ニ
忍ビナイ、斯ウ云フ具合ニ鐵道省デハ
豫算決メタモノ、鐵道敷設法決メ
タモノヲ格別ノ理由ナク之ヲ削除シ
テ、サウシテ到底立行カナイ所ノ私有

會社ノ資本ニ依リ、此國有鐵道幹線ニ
准ズル大切ナル線路ヲ委スト云フコト
ハ、何トシテモ之ヲ常識的ニ判斷シテ
私共ハ承認ガ出來ナイ、今日迄事務官
デナク政務官ヲ相手ニシテ話ヲシテ居
リマシタガ、局長モ居ラヌカラ、此私有
鐵道許可ニ關スル方針——將來買收ス
ルト云フコトヲ豫想セラレテ居ル線路
ガ多イモノデアルカラ、此法案ノ審議
ニ當ツテ此點ヲ一層具體的ニ突込シテ、
アナタ方ノ御考ヲ聞イテ置キタイ、即
チ此線路ヲ私有會社ニ許シテ其資本及
工事並將來果シテ此會社ガヤツテ行
ケルト云フ御見込ガ十分アルカト云フ
コトヲ一ツ局長代理ノ事務的方面ノ御
方カラ御答辯ヲ與ヘテ下サイ

○細野鐵道書記官 監督局長ハ貴族院
ノ方ノ鐵道敷設法ノ會議ニ行ツテ居リ
マシテ差支マシタカラ私ガ急ニ參リマ
シタ、私ト監督局長トハ御承知ノ通り
「マーク」ガ違フヤウニ私ハ政府委員デ
ヤナイノデアリマス、偶々地方鐵道法
ノ改正ニ參與シタト云フ一事務官デ、
局長ガ居ナイ爲ニ其説明ヲスルト云フ
地位ニ立ツテ居ルノデアリマス、ムツカ
シイ事ハ局長ガ御出ニナツテカラ一ツ
御聽ヲ願ヒタイと思ヒマス、今日ハ本
案ニ關係スルコトダケ私ハ申上ゲテ見
タイと思ヒマス

○工藤委員 私人事務上ノ事ヲ伺ツテ
居ルノデアリマス、私有鐵道ヲ許可ス
ルト云フコトハ事務上ノ事デアリマス

○細野鐵道書記官 無論是ハ監督局長
カラ御答スルト思ヒマスガ、許ス以上
ハ無論見込アリトシテ許スデアラウト
私ハ思ツテ居リマス

○工藤委員 私人貴方ヲ追窮スル意味
デヤナイ、政治上ノ關係ハ別ニ聽ク積
リデアリマス、或ハ局長ガ責任ヲ負フ
事ハ局長ニ伺ヒマスガ、貴方ハ先刻來
私ノ問ニ對シテ或モノニ對シテハ答辯
ヲシテ居ラレル、ソコデ貴方ガタガ答
辯ヲスル所以ノモノハ、事務上ノ事デ
アルカラ答辯シテ居ルノデアル、シテ
見レバ此線路ニ限ツテ事務上ノ答辯ガ
出來ナイト云フコトハナイ、知ラヌケ
レバ知ラヌデ宜シイ

○細野鐵道書記官 問題ガ大分ムツカ
シクナッタヤウデアリマスガ、私共トシ
テモ無論ソレハ成立ツモノトシテ參加
シタ譯デアリマス、無論私ニハソレヲ
決定スル權利ハアリマセヌ、私共トシ
テハ、ソレハ許シ得ルモノトシテ立案
シタモノデアリマス

○工藤委員 立案シタ主任ノ方ニ伺フ
ガ、一體一哩何程デ此私有鐵道ハ出來
ル計畫デアリマスカ

○細野鐵道書記官 澤山出願モアリマ
ス、隨テ色々調査モ要リマス、大間鐵道
ニ限ツテ何程ト云フコトノ詳シイ事ハ
記憶シテ居リマセヌ

○工藤委員 貴方ガ今立案シタト云
タカラ聞イタノデアアルガ、立案スルニ
付テ材料無シニ立案ガ出來マスカ

○細野鐵道書記官 今分リマセヌ

○工藤委員 今分ラヌナラバ分ラヌデ
宜イ、哩ガ分ラヌト云フナラバ、收支決
算ハドノ位デアアルカ、ソレハ分リマセ
ヌカ

○細野鐵道書記官 ソレハ今記憶致シ
マセヌ

○工藤委員 僕ハ君ヲ追窮シテ居ルノ
デヤナイ、事務上ノ事ダカラ聞クノデ
アルガ、他ノ事ハ私ハ政務官ヘ持ツテ行
ク、貴方ハ何ダカ恐怖ヲ起シテ居ルヤ
ウダガ、是ハムツカシイ問題デモ何デ
モナイ

○細野鐵道書記官 恐怖モ何モ起シテ
ハ居リマセヌガ、只今記憶致シテ居リ
マセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリ
マス

○工藤委員 ソレデヤスウ云フコトヲ
貴方ハ局長ト御相談ヲ願ヒタイ、是ハ
委員會ニ於キマシテハ委員ノ一人カラ
斯ウ云フ質問ガ起ツテ居ル、此鐵道ハ將
來國有幹線ニナルベキ性質ヲ持ツテ居
ルモノト私ハ思フガ、之ニ關シテ私有
鐵道トシテ經營シテ、果シテ收支決算
ガ、所謂私有鐵道トシテノ使命ヲ全ウ
スルダケノコトガ出來ルカドウカ、殊
ニ大ナル問題デアアルカラ、前刻ヨリ私
ハ其前提トシテ聞イテ居ル、私有鐵道
ニ關スル運賃、即チ運賃ハ其會社ヲ支
配スルモノデアアルカラシテ、此運賃ト
云フモノガ若シ土地ノ事情如何ニ依テ
無制限ニ高價ナル運賃ヲ認可スルト云

フヤウナコトデアレバ、公衆ノ利益ヲ
害スルシ、又將來國有鐵道ノ幹線トナ
ルベキ運命ヲ持ツテ居ル鐵道ノ取扱ト
シテハ、將來國家ニ禍ヲ遺スモノデア
ルカラ、又三戸ヨリ千曳ニ至ル線路、並
田名部ヨリ大間ニ至ル線路、此二ツ
ニ付テ質問シマシタガ、此二ツニ付テ
十分ナル材料ヲ要求シタト云フコト
ヲ、局長迄貴方カラ御傳ヘニナツテ下
サイ、貴方ニ責任ヲ持タセル意味デモナ
イ、政治上ノ問題デモ何デモナイ、政治
上ノ問題ナラ志賀君ニ少シ聞キタイケ
レドモ、幾ラ聞イテモ到底事務上ノコ
トハ分ルモノデハナイ、官判バカリ捺
シテ居ルノデアアルカラ、大抵底ガ見エ
テ居ル、鐵道大臣ダツテサウダ、大抵底
ガ見エテ居ル、仕方ガナイカラ事務官
ニ聞イテ居ル、ソレデアアルカラ此點ハ
後日ニ保留致シマス、ソレカラ……

「此時發言スル者多シ」

○若宮委員長 靜肅ニ願ヒマス——工
藤君質疑ノ御繼續ヲ願ヒマス

○工藤委員 是モ青森縣デアリマス
ガ、五所川原カラ小泊ニ至ル線路ノ中
ニ中里迄御許ニナツテ居ルヤウデアリ
マスガ、此點ニ關シテモ矢張同様御答
ハ頂戴出來マセヌカ——是ハ豫定線ニ
ナツテ居リマスガ、金木ヲ經テ中里ニ至
ル、線路二十三哩、百二十萬圓ノ資本デ
許可ニナツテ居リマスガ、是ハ矢張同様
少シ會社ノ出願ノ要件ニ付テ伺ヒタイ
ケレドモ、是モ駄目デセウカ——後ハ

建設局長ニ對スル質問ニナリマスカラ、是モ同様御調ヲ願フテ置キマス、是ハ何故私ガ斯様ナコトデ御尋申スカト云フト、地方ノ問題トシテ相當注目サレテ居ル問題デアリマスカラ、吾々單ニ現内閣ノ遣口ヲ攻撃スルノデハナイ、皆利害得失ヲ感ジマスカラ御尋スルノデ、吾々ガ地方ニ歸ルト屢議員タルガ故ニ質問ヲ受ケルヤウナコトデアリマスカラ、其點ヲ明カニシテ貰ヒタイ、ソレカラアトハ——建設局長ハ居リマセヌケレドモ、志賀君ニ一寸伺ヒマスガ、此中里カラ小泊ヲ經テ三麻、青森ニ至ル所謂環狀線ガ出來マス、是ハ大部分鐵道敷設法ノ豫定線デアリマスガ、十三哩ダケハ私有鐵道ニ許シタ、是ハ先刻申シタ野邊地カラ、田名部ヲ經テ大間ニ至ル線ト同様ニ、即チ是ハ斗南半島ト申シマシテ會津藩ガ削封セラレタ後ニ移ッタ所デアリマス、是ト反對ニ西ノ方ノ半島ハ是ハ津輕半島デアリマスガ、此線路ハ豫定線トシテ相當注目サレテ居ル線路デアリマスケレドモ、此線路ニ付テハ何處マデ御調ガ出來テ居ルカ、是ハ先達モ申シマシタガ此線路ノ觀察ニ上埜君ガ出掛ケテ行ッテ、サウシテ蟹田ト云フ所デ歡迎會ヲ受ケル等デアッタガ、折詰三百モ拵ヘタ所ガ、素通りサレテ村人ハ面喰ッタト云フ奇談マデ殘シテ居ル所デアリマス、此半島ノ中部ニハ日本ノ三大美林ト云ハレル所ノ「ヒバ」ノ日本一ノ生産地ガアリマス、是ハ國有林デアリマシテ、農林省ノ管轄デ伐採シテ相當搬出量モアルノデアリマス、此ノ鐵道ハ地方民ガ屢請願モ致シマシタガ、實ハ今度ハ青森縣ニ對シテ非常ニ鐵道敷設政策ハ迫害セラレテ居ル、折角貰ッタ油揚げヲ攫ハレテ居ルヤウナコトニナッテ居リマスルカラ、何トカ切メテハ此青森カラ蟹田今別或ハ小泊ノ方ヲ經テ、サウシテ五所川原ニ出ルト云フ、此津輕郡カラ東津輕郡ニ入ッテ廻ッテ來ル鐵道デアリマスガ、之ニ付テハ何カ御調ガアッテ、將來ドウ云フ御計畫ガアルノデアリマスガ、速ニ之ニ着手シテ宜イカドウカ、建議案デモ出スノハ面倒デアリマスカラ、此機會ニ伺ッテ置キマス

○志賀政府委員 此點ハ私ハ今調ベテ居リマセヌ、隨テ御必要デアリマスケレバ、尙調査シテ御答ヘ致シマス、唯此機會ニ於キマシテ特ニ申上ゲテ置キタイノハ、先程申シタ三戸千曳間ノ鐵道ヲ會社ニ免許シタコト、並田名部ヨリ大間ニ至ル線路ヲ會社ニ免許シタ免許セントシタコトニ付テハ御話ガアッタノデ、其會社ノ發起人ガ何カ鐵道當局ガ買収シテ吳レルサウデアアルカラ、自分達ハヤル積リハナイケレドモ、買収シテ貰ヘバ儲カルカラヤルノダト云フコトデ、ヤッテ居ル者モアルト云フ話デアリマスガ、サウ云フコトハ鐵道當局ト致シマシテ、買収ト云フヤウナ豫約ヲシタコトハ勿論アリマセヌ、或ハ又

發起人中ニハ、自分等ノ同志ヲ募ルガ爲ニ、左様ナ口實ヲ構ヘル者ガアルカモ分リマセヌガ、其點ハ吾々ノ知ラヌ所デアリマス、鐵道當局ト致シマシテハ買収シテヤルカラシテ拵ヘロト云フヤウナコトハ言ッタコトハナイ、同時ニ此千曳野邊地間ノ鐵道ノ問題ニ付キマシテモ、前回工藤君ノ質問ニ大臣並私ヨリ御答致シマシタガ、此地方ノ實情ガ此鐵道ヲ通シテモ鐵道會社ハ相當利益ガアル、地方ノ産業ハ由テ以テ開發サレル、如何ニモ現在ノ國有鐵道幹線ニハ多少影響ヲ及ボスコトハ免レナイノデアリマスガ、其結果トシテ地方産業ノ開發ガ出來、又會社ガ存立スルコトガ出來ルトスレバソレハ、許シテモ宜シイト云フ趣意ニ於テ許シタノデアリマス、左様ナ買収スル豫約ヲ以テ之ヲ許可スルト云フヤウナコトハナイト云フ事ダケハ御承知置テ願ヒタイ

○工藤委員 サモアリナント私モ信ジマス、無論鐵道當局ハサウ云フ事ヲ豫約スベキモノデナイケレドモ、企業者ノ心理狀態ハ何等カノ機會ニ於テ責任アル鐵道省ノ意嚮ヲ聞イテ、大臣ダカ次官ダカ參與官ダカ知ラナイガ、聞イテヤッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ私ノ方ノ此問題ニ關スル意見ノ材料トシテ申上ゲタ譯デアリマス、唯此鐵道線路ノ有望ナルコトハ、事務官カラ御答デアリマシタガ、然ラバ如何ナル事實ヲ基礎トシテ有望デアアルカ、事實ヲ基

ニシナケレバ實際ニ於テ之ヲ私共確認スルコトハ出來ナイ、故ニ事務官ハ恐縮シテ居ルヤウデアアルケレドモ、伺ッタ譯デアリマス、併シ唯單ニ有望デアアルカラ許シタト言フ、ソレハ有望デナイカラ許シタト云フ答辯ハ何處ニモアルモノデハナイ、有望デアアルカラ許シタト云フ答辯デアアルガ、然ラバ有望トハ何ヲ示スカ、隨テ私有線ヲ許ス標準ハ何次第デアリマス、敢テソレヲ伺ッタカラト云ッテ、大臣ナリ政務官ノ御答辯ガ不満足ト云フノデハナイ、満足シマス、唯有望ト云フ具體的ノ事實如何ト云フコトニ付テハ、事務的ノ方面デアリマスカラ、事務官ヲ督勵シテ有力ナ材料ダケハ明日ニデモ御出シニナルヤウニ御願シテ置キマス

○若宮委員長 工藤君建設局長ガ御見エニナリマスカラ、ドウゾ……

○工藤委員 五所川原カラ中里ニ行ク十三哩、今度私有鐵道ニ御許シニナッタヤウデアリマスガ、是ハ線路網デ御覽ノ通り、大正十一年ノ敷設法ノ別表ノ中ニ五所川原カラ金木、中里、小泊、三

厩ヲ經テ青森ニ至ル線路、即チ津輕半島ヲ循環スルコトニナル、此鐵道ハ先達モ一寸伺ヒマシタガ、私有鐵道ニ許シタ部分ハ、是ハドウシテモ將來國有鐵道ノ系絡上ノ關係デ買収シナケレバナラヌモノト思ヒマスケレドモ、建設局長ハ——貴方ノ主管デナイカモ知レ

マセヌガ、之ヲ私有鐵道ニ許スニ付テ、將來ノ何カ御考ガアッタノデスカ

○中村政府委員 主管ハ監督局デ免許權ガ監督局ニ在リマスガ、免許ヲ致シマス際ニ於テ建設局トシテハ鐵道敷設法ノ豫定線ニ該當スル線路ニ對シテハ、總テ鐵道省ノ建設ノ基準ニ依テ、建設スベシト云フ條件ヲ附ケテ貰フコトヲ要求致シテアリマス、デアリマスカラソレニ依テ出來ルモノハ、省デ拵ヘマス、同ジ規定ニ依テ作ラレルト云フコトニ考ヘテ居リマス

○工藤委員 ソレデ毎年建議案ナドガ出マスガ、青森ヲ基準トシテ結局五所川原ニ行ク環狀線ニナリマセウガ、是ハ建設局ノ方デハ大抵御調ニナッタト思ヒマスガ、何カ調ベタ材料ノ一部デモ御發表出來マセウカ、一呬ドノ位ト云フ大體收支勘定ヲ御示ヲ願ヒタイ

○中村政府委員 今一寸手許ニ持ッテ居リマセヌガ御覽ニ入レテモ差支ナイト思ヒマス

○工藤委員 左様デスカ、ソレデハ此點ハ是デ終リマス、ソレカラ大間ノ鐵道デスガ、是モ亦私有會社ニ許シタサウデアリマスカラ、國有鐵道ノ建設局長ノ手カラ離レテ監督局長ノ方ニ行カレタ譯デアリマス、併シ是ハ御承知ノ通り憲政會内閣デ豫算ヲ組ンデ、其後政友會デハ又豫算ヲ組替ヘテ、サウシテ二年繰上ゲテヤルト云フコトニナツタ、此工事ハ可ナリ難工事デアリマセ

ウガ、大體國有鐵道ノ建設ノ費用ハ一哩ドノ位デスカ、殊ニ私ノ聞カントスルノハ、大畑カラ大間ニ至ル間、此線ハ將來相當重要ナ線ト認メテ居リマス、ドウモ私立會社ニ之ヲ許シタコトハイカスト思ッテ居リマス、國防上大切ナ土地デアリ、津輕海峽ハ日本デモ有數ナ恐ラク世界有數ナ魚族ノ豐富ナ所デアツテ、漁場トシテハ有數ナ所デアリマス、之ヲ私立會社ニ許シテ、二年カ三年早クナルカモ知レヌケレドモ、私立會社ニ許シテ、サウシテ國有ノ恩惠ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フコトハ、將來此鐵道ノ機能ヲ完カラシメル所以カラ見テモ、洵ニ殘念ニ思ッテ居ル一人デアリマス、併シ實際ニ於テ私有鐵道會社ガ國有鐵道ト同様ニヤルトスレバ、先以テ資本ニ對スル利廻ハドノ位カト云フコトヲ見ナケレバナリマセヌ、是ハ監督局長ト共通ノ問題デアリマスカラ、此點ヲ明白ニ御答願ヒマス

○福富政府委員 今手許ニアリマセヌカラ、取調ベマシテ報告致シマス

○中村政府委員 哩數ヲ書イタモノヲ持ッテ來マセヌカラ、金ダケシカ分リマセヌノデ、明日哩數ト合セテ御返事ヲシマス

○工藤委員 尙監督局長ニ申シマスガ、此線ハ今申シタヤウナ趣旨デ、相當重要ニ見テ居リマス、尤モ私ノ縣デアルカラ申スノデハアリマセヌガ、斯ウ云フ例ガ何處ニモ澤山アリマスカラ申

上ゲルノデアリマスガ、是ハ迪モ私立鐵道デハヤレナイ爲ニ、今マデ捨テラレタ線デアリマスガ、此線ヲ若シ貴方ガ許可ヲシテ、私有鐵道會社ニ國有鐵道ノ大體ノ規格ニ準ジテヤラセルトシテ、收支償フコトガ出來ルカ、大畑迄ハ一年デモヤリマス、一哩十五六萬圓二十萬圓出セバ出來マスガ大畑カラ向フガ中々出來ナイ、現ニ私モ發企人ノ一人ニ逢ウタガ、大畑迄ハ直グヤルガ、後ハ迪モ御上ノ力デナクテハ出來マセヌト發企人ガ公言シテ居ル、ソレハサモアリナント思ッテ居ル、サウ云フモノデ迪モ出來ナイト思ヒマス、ソレデモ許シテ資本ガ停滯シテ頓挫シテ、工事施行期間ハ延期ニ延期ヲ重ネルト云フコトデアレバ、非常ナ禍ヲ受ケル者ハ地方ノ人デアリマス、政友會ハ昭和四年カラ着手スルト云フ豫算ヲ作ッタガ昭和四年ハ今年デアリマス、其處迄行クト後ハ又完成期間ヲ繰上ゲル途モアッタノニ、全然削除シテ元モ子モ無クシテシマツテ、實際志賀君ハ惡戯デスヨ、ソコデ今度ハソレダケノ責任ハ監督局長ガ有ツノデアリマセヌガ、若シ萬一出來ナカッタラドウシマス、毎年々々議會ニ於テガン／＼言フノハ嫌ダカラ——ソレハ出來ルモノデナイ、ソコデ私ハ先刻斯ウ云フ質問ヲシテ居ル私有鐵道ニナツタモノデモ、國有鐵道ニ準ジテ將來買收シ、或ハ幹線ニ準ズベキモノヲ造ルニハ、建設費或ハ其他ノ金ヲ國庫デ補

助シテモ助成スル位ノ途ガアレバ格別、ソレモ願ミズ、ソレニ付テ何等方針モ成案モナイト云フ、不可能ノモノヲドン／＼許シテ、地方民ヲ失望サスト云フコトハ、實際鐵道ニ對スル現内閣ノ政策ハ、惡ク言ヘバ出鱈目デアリマス、其出鱈目ノ後ヲ事務官ガ引受ケルカラ、貴方トシテハ重大ナル責任ガアルノデアリマス、之ヲ許シテ——ドウモ子供ヲ拵ヘテ育テモシナイデ、說教強盜ノヤウナモノヲ世ニ殘スナド其處ハ能ク御注意ニナラナケレバナラス、ソレデアルカラ今迄私有鐵道ノ建設ノ狀態ヲ見ルト、大部分出來テ居リマセヌ、ソレハ出來ル筈ノモノデナイ、唯權利ヲ取ッテ他ノ資本ヲ排他的ニシテ、唯自分等ガ景氣ガ好クナッタラ其權利ヲ賣ルカ何カスルト云フ投機的ニシカ考ヘテ居リマセヌカラ監督局長ハドウカ——今若イ書記官ノ方ニ御願シテ置キマシタガ、三戸カラ千曳ニ至ル線路、ソレカラ田名部カラ大間ニ至ル線路、ソレカラ青森カラ五所川原ニ至ル津輕半島ヲ縫ッテ行ク線路ニ付テ色々書記官ニ伺ヒマシタガ、ドウモ何ダカ怖ガッテ返事ヲシナイ、ドウモ氣ノ毒デアリマシタガ、其材料ヲ一ツ御調ヲ願ヒタイ、是ハ私ハ此線ダケヲ言フヤウデアリマスガ、私ノ選舉區デアルカラ私ノ頭ニ能ク入ッテ居ルカラ言フノデ、自分ノ選舉區デ頭ニ這入ッテ居ルカラ此線ヲ申上ゲルノデ、ドウカ材料ダケハ整ヘテ、議

會ノ報告ヲスル時ニモ政府ノ趣旨ノアル所ヲ徹底シテ、此地方民ニモ安心ヲ得サセタイト私ハ豫々思フテ居リマスカラ、ドウカ御遠慮ナク材料ダケハ御示ヲ願ヒマス

○中村政府委員 只今ノ數字ハアリマシタカラ申上ゲマス、大畑大間ノ工事費四百二十四萬八千圓、距離延長十七哩六分平均約二十四萬圓、ソレガ前回ノ計畫デアリマス

○工藤委員 甚ダ濟ミマセヌガ、モウ一遍發言ヲ許シテ下サイ、中村サンハ是ガ本當ニ出來ルト思フテ居リマスカ

○中村政府委員 二十四萬圓ナラ大丈夫出來マス

○工藤委員 請合ヒマスカ

○中村政府委員 請合ヒマス、少シ町寧ニ設計シテ計畫スレバ、是デ殘ル積リデアリマス

○工藤委員 是ハ貴族院ニ於テモ問題トナツテ居リマスガ、餘リ遺線ヲヤリ過ギテ豫算ヲ立ツタ、其金デ出來ナイカラ他カラ拂ツテ來テヤルト云フヤウナコトデ、貴族院ニ於テハ問題トナツテ居リマスガ、二十四萬圓デ國有鐵道ト同様ノモノガ出來ルト言ヘバ仕合セデアリマスカラ、是ハ敢テ反對ヲ致シマセヌケレドモ、後ハ監督局長ノ責任デスヨ、二十四萬圓デ仕上ゲルト云フコトハ、先ヅ腹ヲ切ルダケノ覺悟デ之ヲ着手シテ貰ハナケレバナラス、局長サン有難ウゴザイマシタ、私ハ是ダケデ……

○田中委員 私ハ東京ノ近郊ノ鐵道ニ付テ御尋シタイノデスガ、吾々ノ目撃シテ居ル所デハ、東京ノ近郊ニ於ケル……

〔若宮委員長退席熊谷理事著席〕

鐵道ノ輸送力ハ不十分ダト云フ感シガ致シマス、例ヘバ吾々ガ新橋若クハ東京驛方面カラ東北ニ向フテ、若クハ山手ノ幹線ニ向ッテ乗ル場合ニ、殆ド何時デモ三等ノ電車ハ立ン坊デス、乗ル際ノ混雜ハ勿論、内ニ這入ッテカラモ殆ド身動キハ出來ナイ、又更ニ進ンデ東京大宮浦和間ノ如キハ、朝晩ト云フモノハ——志賀君ハ始終二等ニ乗ッテ居ルカ知リマセヌガ、偶々吾々ガ三等ニ這入リマス、詰詰ト申シマセウカ、中ニハ這入リ切ラナイデ一列車モ二列車モ遅レル人ガアル、之ニ付テ政府當局デハ何等カ是ガ緩和ノ途ハナイデセウカ

○加賀山政府委員 私ハ專門デハアリマセヌケレドモ、一寸運輸局長ガ見エマセヌカラ、私ガ代ッテ御答致シマスガ、全體ノ平均カラ申シマス、決シテ混ンデ居ナイノデアリマス、併シ混ンデ居ル、列車ハ貴方ガ御覽ニナリマシヤウニ私共モ見テ居リマス、所ガ混ム時間ハ大抵時間ガ決ッテ居ルノデアリマス、極ク短時間デアリマシテ、此短時間ニ列車ヲ續イテドン——出スト云フコトハ、停車場ノ設備ニ關係致シマス、例ヘバ「ホーム」ノ數ヲ殖ヤストカ、或ハ次ノ列車ガ直ニ通レルヤウナ信號關

係ガ要ルトカ、色々ノ事ニ關係致シマスノデ、之ヲ十分ニ賄ヒ付クヤウニ不斷カラ設備致シマス、ソコハ又金ノ問題ニナリマシテ、十分ノ金ヲ其處ニ寝セナケレバナラスト云フ問題モ起ッテ來マスカラ、非常ニ混合ヒマス時ニハ、或ハ多少御不便ヲ與ヘルヤウナコトニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、大體ト致シマシテハ現在ノ計畫デ賄ヒガ出來テ居ルヤウニ私ハ感ズルノデアリマス、私ハ改良工事ノ主管ノ仕事ノ方ノ關係デアリマスガ、大體東京近郊ニ於キマシテドノ列車ニドウ云フ風ニ客ガ乗ルカト云フコトハ、運輸當局ノ調べニ依リマシテ、ソレダケノ客ヲ運ブニハ何分置キニドウ云フ車ニ何人乗セテ、ドウ云フ風ニ運バナケレバナラスカト云フコトヲ調査シテ居リマスガ、御説ノ通りニ電車ノ如キハ可ナリ混合フヤウニ私モ思フテ居リマス、思フテ居リマスガ、未ダソコハ改良施設ガ足リナイト思ヒマスガ、車ノ數ニモ關係シマスシ、電力ニモ關係致シマスシ、停車場ノ設備ニモ關係致シマスシ、線路ノ數ニモ關係致シマスシ、色々ノ關係上未ダ十分ニ樂ナ御旅行ヲサセルコトガ出來ナイノデハナイカト思フテ居リマス、大體ト致シマシテハ鐵道ノ方デモ始終各時間毎ノ通過ノ人員ナドノ表ヲ取リマシテ、座席效率ナドモ先ヅサウ不十分デハナイモノト認メテ居ル次第デアリマス、其施設ニ付キマシテハ今後益

益鐵道ト致シマシテ、現在持ッテ居ル計畫デ今日迄ノ經過カラ類推致シマシテ、漸次十分ナル計畫ニ爲シテ行キタイト思フテ、銳意東京近郊ノ設備改良ニ付テ力ヲ注イデ居ル次第デアリマス、只今例ニ出マシタ東京、浦和、大宮線ハ御説ノヤウニ列車ハ混ンデ居リマス、即チ座席ノ使用效率ノ如キモ比較的ニ高イ線ニナツテ居リマス、是ハ今日急速ニ工事ヲ施行致シテ、所謂二線増設工事ヲ只今施行致シテ居リマス、大宮マデハ來年度カ或ハ再來年度ニナルカモ知レマセヌガ、大宮マデハ只今ノ二線ガ増設ガ出來レバ四本ニナル、四本ニナリマス、列車ガ十分ニ通レマスカラ、御迷惑ヲ懸ケナイデ濟ムダラウト思フテ居リマス、其他東海道ニシマシテモ、山手線ニシマシテモ、中央線ニシマシテモ、今皆線路増設工事中デアリマス、二本ノ線ガ四本ニ、四本ノ線ガ六本ニ、六本ノ線ガ八本ニナルト云フ風ニ工事ヲ致シテ居リマスカラ、是ガ出來レバ可ナリ御満足ヲ與ヘヤシナイカト思フテ居リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○田中委員 大體カラ見レバ十分ダト云フヤウナ御答辯デアリマスガ、吾々ノ實際目撃シテ居ル所ハ、座席ノ如キモ三等ニ乗ッタ人ハ少シ遅レ、バ必ズ座席ガナイ、是ハ間違ナイ、統計ヲ取ッテヤッテ居ルノデセウガ、實際ハ座席ノ無イ人ガ餘計乗ッテ居ルト云フテ宜イデセウ、ソレハソレデ宜イトシテ、私ハ此

際當局ノ方デ少ナクトモ大宮、赤羽間
ダケハ極ク最近ニ於テ電車ニスルト云
フ計畫ガ有ルカ無イカ、若シモ色々ナ
關係デ豫算ガ取レヌトカ、電力ガ足ラ
ストカ、其他ノ關係デ出来ヌト云フナ
ラバ、現在許サレテ居ル東京、大宮間ノ
電車ノ速成ニ付テ何等カ督促スルト
カ、何トカト云フ方法ハナイダラウカ、
此點ヲ一ツ伺ヒタイ

○加賀山政府委員 只今御尋ノ赤羽、
大宮間ノ電車ノ計畫ハ只今持ッテ居リ
マセヌ、鐵道ハ赤羽マデノ計畫ヲシカ
致シテ居ナイ、電車ニ對シテハ計畫致
シテ居リマセヌ、電化計畫ハ大宮マデ
致シテ居リマス、一方大宮、東京間ノ地
方鐵道ノ電車ニ對シテハ既ニ免許ヲ與
ヘマシテ、専ラ會社ノ方デ工事施行ノ
手續ヲ致シテ居ルト思フノデアリマ
ス、出来ルダケ督促モ致シマセウガ、是
等ガ可ナリ省線ト影響ヲ持ッテ居ルダ
ラウト思ヒマス、最初ノ御話ノヤウニ
非常ニ混合フト云フヤウナコトハ、是
ガ促進サレ、バ餘程緩和サレテ行キヤ
シナイカト思ッテ居リマス

○田中委員 只今ノ所デハ大宮、赤羽
間ハ電車ノ計畫ガ全然無イノデスカ
○加賀山政府委員 ゴザイマセヌ
○田中委員 今電化ト言ハレタノハ、
所謂電氣機關車ヲ通スト云フ意味ナン
デセウガ、其電氣機關車ヲ通スト云フ
ノハ何時カラ通シテ、且電化ニシタ
結果列車ハ現在ヨリモ位ノ程度ニ

於テ増發スル御見込デセウカ

○加賀山政府委員 二線ヲ四線ニ致シ
マスルト、只今ノ所デハ旅客列車ノ線
ト貨物列車ノ線ト分ケタイ積リデ居ル
ノデアリマス、或ハ旅客列車ノ中ニ急
行列車ト緩列車、又ハ各線ノ關係ニ依
リマシテ、貨物列車ノ線ニ旅客列車ヲ
通スト云フコトモアルカモ知レマセヌ
ガ、大體ニ於テ貨物ノ量ト旅客ノ量ハ
列車ノ數ニ於テハ大體平均シテ居ルヤ
ウニ思ッテ居リマス、一體單線ヲ複線
ニ、複線ヲ四線ニシマス、其數ノ倍ハ
要ラナイノデアリマス、是ハ列車ノ動
カシヤウニ依リ、或ハ信號設備其他ニ
モ依リマスガ、大體ニ於テ單線デハ三
十列車又ハ三十二列車、複線デハ七十
列車或ハ八十列車、信號設備ヲ良クシ
マスレバ、九十列車近クマデ、或ハソレ
以上ノコトモ出来ルノデアリマス、之
ヲ四線ニ致シマスレバ複線ヲ二本トシ
テ扱ヒマス場合ニ、只今御話ノヤウデ
アレバ八十列車ガ百六十列車ト云フコ
トニナリマスケレドモ、是ハ貨物列車
ニ旅客車ヲ挟ムトカ、或ハ急行ノ間ニ
他ノ列車ガ避ケルトカ、色々運轉上ノ
工夫ニ依テソレ以上ノ率ガ出ルモノト
心得テモ居リマス、即チ重ネテ申上ゲ
マスレバ、複線ニ於テ七十列車乃至八
十列車位ガ普通デアリマス、無論モット
通セマスケレドモ——複々線ニ於キマ
シテハ複線ノ倍デアリマス、併シ運轉
ノ仕様ニ依レバソレ以上通レルコトヲ

御承知願ヒタイト思ヒマス
○田中委員 電化後ノ増發ノ見込ハド
ウデスカ
○熊谷委員長代理 一寸委員長カラ御
注意申上ゲマス、素人ニ分ルヤウニ御
答願ヒタイ、例ヘバ今マデヨリモ二倍
運ベルトカ三倍運ベルトカ、サウ云フ
風ニ御答ニナッタ方ガ分リ易クテ宜イ
ト思ヒマス

○加賀山政府委員 心得マシタ、先程
ノ御質問ニ答ヘ落シガアリマシタガ、
東京大宮間ノ電化計畫ノ完成年度ハ昭
和六年度ニナッテ居リマス、先程申上ゲ
マシタ電車デハゴザイマセヌ、電氣機
關車デ旅客列車並貨物列車ガ通ルノデ
アリマス、只今委員長カラ御注意ガア
リマシタガ、數ニ致シマススト云フト、複
線即チ四線ニ致シマス普通ハ複線
ノ倍デアリマスガ、運轉ノ方法其他ニ
依リマシテソレ以上ノ效率ガ出ルノデ
アリマス、即チ複線ニ於テ八十列車ト
致シマス、複々線ニスレバ百六十列
車ト云フコトニナリマス、サウシテソ
レ以上運轉ノ方法ニ依テハ百七十列
車ト通セルコトモアルシ、或ハ百七十
五列車ニ及ブコトモアルダラウト思ヒマ
ス

○田中委員 今ノ御答辯ハ複々線ニス
ルカラ百六十列車マデ運ビ得ルト云フ
コトデアッタガ、今ノ電化後ニ大宮ト東
京間ニ於テドノ位増發シヤウト云フノ
デスカ、シヤウトスレバ出来ルダラウ

ケレドモ、今ノ計畫デハ何列車一日ニ
運轉セシメヤウト云フノカ、其具體的
ノ事實ヲ聞キタイ

○加賀山政府委員 是ハ先程モ御話ノ
ヤウニ非常ニ混シデ居ルト云フコト
ハ、此線ガ二本デハ無理ナ運轉ヲシテ
居ルト云フコトニ相成ルノデアリマ
ス、之ガ急ニ二本ガ四本ニナリマス
其效率即チ力ガ倍ニナッテ參リマス、ソ
レデ複線ノ時モ複々線ニナリマシタ時
モ運輸ノ狀態ハ同ジデ、貨物列車モ旅
客列車モ其數ノ比例ハ違ハナイト言ッ
テモ宜イノデアリマス、從來ハ複線デ
無理ヲヤラシテ居リマシタガ、無理ヲ
シナイヤウニ致シマス、複々線ニナリ
マスマデハ詰リ複線ノ際ニハ六十列
車デ運シデ居ッタモノガ、複々線ニナル
ト七十列車ニ相成ルカモ知レマセヌ、併
ナガラ旅客モ貨物モ年々上ッテ參リマ
スカラ、複々線ニナッタ時ニハ複線ノ時
ノ六十列車デハ不十分デ七十五列車ニ
ナリ、ソレガ一年遅レルト八十列車ニ
ナリ、二年經ツト九十列車ニナリ、三年
經ツト九十五列車ニナルト云フ風ニ、
段々列車ノ數ガ殖エテ參ルノデアリマ
ス、複々線ノ運轉ヲ開始シマシテモ直
グニ數ガ急激ニ殖エルモノデハナイ、
段々増シテ參リマシテ、終局ニ於キマ
シテハ只今御話申上グルヤウニ複々線
ノ能力トシテハ複線ノ倍以上運ブ力ガ
アルカラシテ當分大丈夫デアルト斯ウ
云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○田中委員 少シ分ラナイノデアリマスルガ、只今ノ近郊ノ問題ニ付テ此狀態デ行キマシテハ、到底吾々ハ今ノ輸送力ニ満足出來ヌノデアリマス、將來ニ對シマシテ地下鐵道デアルトカ、或ハ更ニ他ノ鐵道線路ヲ敷設スルトカ、或ハ私設鐵道ニ許ストカ云フヤウナコトノ御考ガアルノデセウカ

○加賀山政府委員 東京市ニ對シマシテハ地下鐵道ハ大體ニ案ガ決ツテ居ルヤウニ伺ツテ居ルノデアリマス、即チ東京市ヲ貫キマシテ地下線ト高架線トノ高速度線デアリマスガ、其鐵道網ガ大體ニ於テ學者並當事者ノ間ニ議セラレテ居ルノデアリマス、郊外ニ對シマシテハ、是ハ御承知ノ如ク必シモ地下線高架線ニ依ラナクテモ宜イト思ヒマス、東京ヲ中心ト致シマシテ各方面ニ現在ニ於テモ澤山ナ地方鐵道ガ放射線ニ伸ビテ居リマス、又其放射線ガ段々ニ線路ガ殖エテ參リマシテ、其放射線ノ間隔ガ短クナルトシマスレバ、其必要ニ應ジテ會社モ企業ヲ致シマセウシ、又會社ガ企業ヲ致シマシテモ其鐵道ガ收支償ヒ、是ハ將來有效デアル、造ラナケレバナラヌト見レバ、無論鐵道省ハ許ス方針ヲ執ルダラウト思フノデアリマス

○田中委員 モウ少シ私ノ方ハ法律ノ字句ニ付テ質問シタイノデアリマスガ、横山君ニ多少字句ノ問題デハナイ、モウ少シ大キナ問題ガアリサウデアリ

○横山委員 私ノモ法案ニ付テノ質問デスガ、併シ餘リ委員ヲ虐待シナイデ、ドウデス、外ノ委員會ハ皆散會シテ居リマスカラ、散會シテハ……

〔熊谷委員長代理委員長席ヲ退キ若宮委員長代リ著席〕

○若宮委員長 御言葉デハアリマスルガ先程モ申上ゲマシタ通りニ會期切迫ノ今日デアリマスルガ故ニ、御質疑ガアリマスルナラバ、ドウゾ御出席ノ方ハ御盡シテ願ヒタウゴザイマス

○横山委員 議事進行ニ付テ一言致シタイト思ヒマス

○若宮委員長 宜シウゴザイマス

○横山委員 勿論質問ヲ急ギマシテ、早く終了スルト云フコトモ議事進行ノ一方法デゴザイマセウガ、比較的豐富ナル材料ヲ頂戴シ、身體ノ疲ラ醫シ、精神ノ疲ラ醫シテ、然ル後ニ新進氣鋭ノ狀態ニ於テ審議スルト云フコトモ、議事進捗ノ一方法デアルト思ヒマス、今言ヒマス如ク此委員會ダケデ、外ノ委員會ハ皆散會シテ居リマス、殊ニ先日以來此鐵道敷設法ニ於テノ委員會ノ經過ト云フモノハ、ドウモ必シモ委員長トハ言ヒマセヌガ、餘リニ御急ギニナル傾ガアル、ソレカ、アラヌカ、現ニ鐵道買収法ノ如キハ殆ド喧嘩分レノ如キ狀態ニナツタ、謂ハバ滿場一致ヲ以テ、或ハ警告ヲ附ケルカ、希望條件ヲ附ケルカ、何トカシテアレハ圓滿ノ中ニ

解決出來ル問題ニ向ツテ、斯ノ如キ波瀾ヲ起シタ、是ハ畢竟スルニ彈壓の態度トハ申シマセヌガ、恰モ是ニ類スル御態度ガアリマスルカラ、自然感情ノ衝突ヲ來シテ斯ノ如キ思ハザル結果ニ陷ツタノデアラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ今日ハ宜シクドウカスウ云フ點ニ願ラレテ、モウ少シデ五時ニナルカラ御散會ニナツテ、明朝カラ再ビ質問ヲ繼續サレンコトヲ希望シマス、散會ノ動議ヲ提出致シマス、御賛成下サイ

○若宮委員長 委員諸君ガサウ云フ御希望デアリトシマスレバ、私モ個人ト致シマシテ餘リ樂デモナイノデアリマスカラ、勿論ソレニ反對ヲ致ス趣意ハアリマセヌ、サリナガラ御見受ノ通りニ貴族院ト本院ト兩方ニ分レテ、大臣並政府委員ガ同ジ時ニ開會スルヤウニナリマスルガ故ニ、人ヲ分ケナケレバナラヌ、隨テ先刻來モソレノ主管ノ局長デアルトカ、政府委員ガ揃ハヌヤウナコトガアリマシテ、委員諸君ニモ洵ニ迷惑ヲ掛ケテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマスルガ故ニ、先ヅ主管ノ各政府委員ガ顔ヲ揃ヘラレテ居ル時ニ御質疑下サレルコトノ方ガ議事ノ進行ノ上ニ於テ最モ便宜デアルト考ヘマスルガ故ニ、斯ク申ス私モ苦痛ヲ忍ビツ、職責ヲ盡シテ居ル次第デアリマス、此以上ハ多クノ諸君ガ——併シ最早止セト云フ御趣意ナレバ、如何様トモ私ハ御趣

意ニ從ヒマス、何ト御決メ下サツテモ、一向差支アリマセヌ、尙改メテ御注意迄ニ申上ゲマスガ、明日ノコトモ私ハ勿論十時ヨリ繼續シテ戴キタイト考ヘテ居リマス、速記ノ方モ其手續ヲ致シテ居リマスガ、大體午前中ダケハ速記ガ出來ルサウデアリマス、故ニ明日繼續シテ開クコトハ出來ルト考ヘテ居リマスルケレドモ、政府ノ方ノ側デモ、連モ是ダケ揃フ見込ハナイノデゴザイマス、ソレダケ御含ミテ願ツテ置キマスレバ、後ハ多數ノ諸君ノ思召ニ依ルヨリ外仕方ガナイ

○工藤委員 御急ギノコトモ御尤デアリマスガ、外ハ皆散會シテ居リマス、併シ質問ガアレバアルダケ皆ヤラウト云フノナラバ、續行シテ幾ラデモヤツテ宜イノデスガ、餘リ無理ヲシテモ仕方ガナイデスカラ、殊ニ政府委員ノ方ニモ材料ヲ御願シテ居リマスシ……

○若宮委員長 一寸工藤君、政府ノ方ノ御考モアルカラ聽イテ下サイ

○志賀政府委員 實ハ貴族院ニ於キマシテハ、鐵道敷設法委員會ガアツテ、御承知ノ通り澤山鐵道ノ問題ガ掛ツテ居ルノデス、今日モマダ漸ク序論ニ達シタダケデ手ガ放セマセヌノデ、明日モ大臣並建設局長或ハ監督局長モ其方ニ是非參列シナケレバナラヌヤウナ順序ニナツテ居リマス、左様ナ次第デアリマスカラ、此法律案ニ對スル御答辯ハドウ

ナリトモ手分ケヲシマシテ御満足ヲ與
ヘルヤウニシマスガ、或ハ高等政策竝
運輸全般ノコトニ至リマスルト云フ
ト、又他ノ政府委員ガ見エナケレバナ
ラヌト云フヤウナコトニナル虞ガアル
ノデアリマス、其點ダケヲ御諒承ヲ願
ヒマシテ、明日開カレマスル際ニハ其
御含ミニ於テ、此法律案ニ成ベク關聯
シタ問題ニ付テ御質問ヲ願ヒタイ、ソ
レダケヲ御願申上ゲマス

○工藤委員 御尤デス、吾々モ法律案
ニ付テノ質問ヲ致シタイト思ヒマス
ガ、大臣ノ顔ヲ見ルト國策問題モ承リ
タクナルノデス、ソレデ明日ハドウ云
フコトニナリマスカ、誰々ガ御出ヲ願
ヘマスカ、一體是ハ貴族院ト打合セラ
シテヤツテハ如何デスカ、サウシナイト
兩方トモ不徹底ニナリハシナイカと思
ヒマスガ……

○熊谷委員 是ハ速記ヲ止メテ懇談ニ
入ッテハ如何デス

○若宮委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ
……

〔速記中止〕

○若宮委員長 本日ハ是ニテ散會致シ
マス、明日ハ午前十時ヨリ開會ノ見込
デゴザイマシテ、公報デ御報告ヲ申上
ゲマスガ、ドウゾ成ベク御早ク御出席
ノ程願上ゲマス

午後五時五分散會